

資料2	令和6年3月4日
	第32期青少年問題協議会 第5回専門委員会

豊島区子ども・若者の実態・意識に関する調査

作成中

令和6年2月

豊 島 区

目 次

第1章 調査の概要	1
1 アンケート調査の概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査期間と方法	1
1-3 調査対象	1
第2章 調査結果	3
1 回答者属性	3
1-1 年齢	3
1-2 子ども・若者の家族構成	3
1-3 高校生の状況	3
1-4 若者の状況	4
2 子どもがいる世帯の状況、子どもの学力と幸福度	6
2-1 婚姻や世帯構成	6
2-2 生活困窮の状況	10
2-3 子どもの学力	13
3 困難を抱える状況	14
3-1 生活困難について	14
3-2 広義のひきこもり群	15
3-3 家庭の社会的経済的背景（SES）の最下層の回復力（レジリエンス）の分析（検討中）	16
4 豊島区子どもの権利条例について	18
4-1 豊島区子どもの権利条例について	18
4-2 7つの子どもの権利が守られているか	24
4-3 子どもの意見表明について	27
5 支援者から把握する状況	34
6 子どもから把握した状況	56
6-1 ふだんの環境	56
6-2 幸福度や社会的情動（非認知脳力）	71
6-3 将来展望	77
6-4 外出状況、落ち込んだ経験	84
6-5 つながり	96
6-6 相談機関や施策	100
7 保護者から把握する状況	102
7-1 放課後の居場所と進学	102
7-2 子どもや地域との関わり方	104
7-3 いじめや虐待	110
7-4 支援制度や相談、子育て施策	112
7-5 就学前児童に関する相談や支援	128

第1章 調査の概要

1 アンケート調査の概要

1-1 調査目的

「豊島区子ども・若者総合計画」（令和2年3月策定）改定するにあたり、豊島区の子どもや若者に関する施策に役立てるため、子どもの生活実態や子育て支援に関するご意見をお伺いしました。

1-2 調査期間と方法

調査期間：令和5年11月10日（金曜日）から12月1日（金曜日）

調査方法：郵送による配布、郵送およびWEBによる回収（区民対象調査については令状を兼ねた督促を実施）

1-3 調査対象

調査票種類	対象者	配布数		回収数		回収率	
就学前児童保護者	0～5歳保護者	1,500		816		54.4%	
小学生保護者	小学1～3年生保護者	1,500	750	657	376	43.8%	50.1%
	小学4～6年生保護者		750		281		37.5%
中高生保護者	中学生保護者	750		246		32.8%	
	高校生保護者	750		209		27.9%	
小中学生	小学4～6年生本人	750		213		28.4%	
	中学生本人	750		180		24.0%	
高校生	高校生本人	750		148		19.7%	
若者	18～29歳若者	1,500		280		18.7%	
地域団体等		350		220		62.9%	
区施設職員		300		278		92.7%	
計		8,900		3,258		36.6%	

調査票種類	対象者	配布数		回収数		回収率	
就学前児童保護者	0～5歳保護者	1,500		816		54.4%	
小学生保護者	小学1～3年生保護者	1,500	750	657	376	43.8%	50.1%
	小学4～6年生保護者		750		281		37.5%
中高生保護者	中学生保護者	750		246		32.8%	
	高校生保護者	750		209		27.9%	
小中学生	小学4～6年生本人	750		213		28.4%	
	中学生本人	750		180		24.0%	
高校生	高校生本人	750		148		19.7%	
若者	18～29歳若者	1,500		280		18.7%	
地域団体等		350		220		62.9%	
区施設職員		300		278		92.7%	
計		8,900		3,258		36.6%	

第2章 調査結果

1 回答者属性

1-1 年齢

1-1-1) 子どもの年齢階層

- ・若者について年齢階層を区分すると、「18-19歳」が5.4%、「20-24歳」が13.5%、「25-30歳」が15.2%でした。

調査数	年齢階層 上段：実数、下段：%					
	小学4-6年生	中学生	高校生等	18-19歳	20-24歳	25-30歳
821	213	180	148	44	111	125
100.0	25.9	21.9	18.0	5.4	13.5	15.2

1-1-2) 保護者回答による子どもの年齢

- ・小学3年生以下について、100票以上の回答を得られました。

調査数	年齢・学年 上段：実数、下段：%																		
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生年齢	高校2年生年齢	高校3年生年齢	無回答
1939	143	137	128	139	135	127	115	128	125	90	98	89	82	65	60	75	58	39	106
100.0	7.4	7.1	6.6	7.2	7.0	6.5	5.9	6.6	6.4	4.6	5.1	4.6	4.2	3.4	3.1	3.9	3.0	2.0	5.5

1-2 子ども・若者の家族構成

- ・「ふたり親と子」が63.8%、「ひとり親と子」が10.2%、「三世代」が5.1%、単身が12.4%でした。

調査数	家族構成 上段：実数、下段：%						
	ふたり親と子	ひとり親と子	三世代	単身	パートナーと自分	その他	無回答
821	524	84	42	102	47	15	7
100.0	63.8	10.2	5.1	12.4	5.7	1.8	0.9

小中 F3 高 F3) 若 F5)

1-3 高校生の状況

1-3-1) 通学

- ・「高等学校」と「高等専門学校や専修学校」の合計は95.3%でした。

	調査数	あなたは、現在、学校に在籍していますか。 上段：実数、下段：%				
		高等学校	高等専門学校や専修学校	左記の学校のいずれかに在籍したが中途退学した	左記の学校のいずれかに在籍したことがない	無回答
高校生等	148	139	2	1	1	5
	100.0	93.9	1.4	0.7	0.7	3.4

高 11)

1-4 若者の状況

1-4 1) 学歴

- ・ 若者「4年制大学・大学院」が最も多く 74.6%でした。

調査数	最後に卒業（中退を含む）した、または現在在学している学校 上段：実数、下段：%							
	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制・通信制・サポート校）	専門学校	4年制大学・大学院	高等専門学校・短期大学	その他	無回答
280	2	19	5	33	209	6	5	1
100.0	0.7	6.8	1.8	11.8	74.6	2.1	1.8	0.4

若 F3)

1-4 2) 就労状況

- ・ 「正規の社員・職員・従業員」が最も多く 48.9%で、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」が 33.6%でした。

調査数	あなたの就学・就業状況 上段：実数、下段：%													
	学生・生徒（予備校生などを含む）	パート・アルバイト（学生除く）	派遣社員	契約社員・嘱託	正規の社員・職員・従業員	会社などの役員	自営業・自由業	家族従業者・内職	専業主婦・主夫	家事手伝い	無職（仕事を探している）	無職（仕事を探していない）	その他	無回答
280	94	20	2	5	137	3	5	0	4	2	5	2	1	0
100.0	33.6	7.1	0.7	1.8	48.9	1.1	1.8	0.0	1.4	0.7	1.8	0.7	0.4	0.0

若 F9)

1-4 3) 婚姻

- ・ 「結婚していない」が最も多く 87.1%でした。

調査数	あなたの現在の婚姻状況 上段：実数、下段：%			
	結婚している（事実婚を含む）	結婚したことはあるが、今はしていない	結婚していない	無回答
280	35	1	244	0
100.0	12.5	0.4	87.1	0.0

若 F4)

1-4 4) 生計

- ・ 生計をささえている人は、「あなた自身」が最も多く 46.1%、次いで「父親」が 33.6%でした。

調査数	生計を支えている方仕送り方で生計を立てている方は、その仕送りをしている方 上段：実数、下段：%							
	あなた自身	父親	母親	配偶者・パートナー	兄弟姉妹	他の家族や親せき	わからない、答えられない	無回答
280	129	94	27	21	0	1	3	5
100.0	46.1	33.6	9.6	7.5	0.0	0.4	1.1	1.8

若 F6)

- ・ 生計をささえている人の主な収入源は、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が 95.4%でした。

調査数	主に生計を支えている方の主な収入源 上段：実数、下段：%						
	就労、事業による収入（農業収入を含む）	預金やその利息、財産からの収入（株の配当や不動産賃料など）	年金	生活保護	その他	わからない、答えられない	無回答
280	267	0	3	1	6	3	0
100.0	95.4	0.0	1.1	0.4	2.1	1.1	0.0

若 F7)

- ・ 暮らし向きは、「普通」が 48.9%で、「どちらかという低い」「低い」の合計は 12.9%でした。

調査数	あなたの暮らし向きは、世間一般と比べてみて、どれにあたると思われますか。 上段：実数、下段：%					
	高い	どちらかという高い	普通	どちらかという低い	低い	無回答
280	31	76	137	29	7	0
100.0	11.1	27.1	48.9	10.4	2.5	0.0

若 F8)

2 子どもがいる世帯の状況、子どもの学力と幸福度

2-1 婚姻や世帯構成

■ 2-1-1) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「配偶者がいる」が最も多く 96.9%でした。

前保 3)

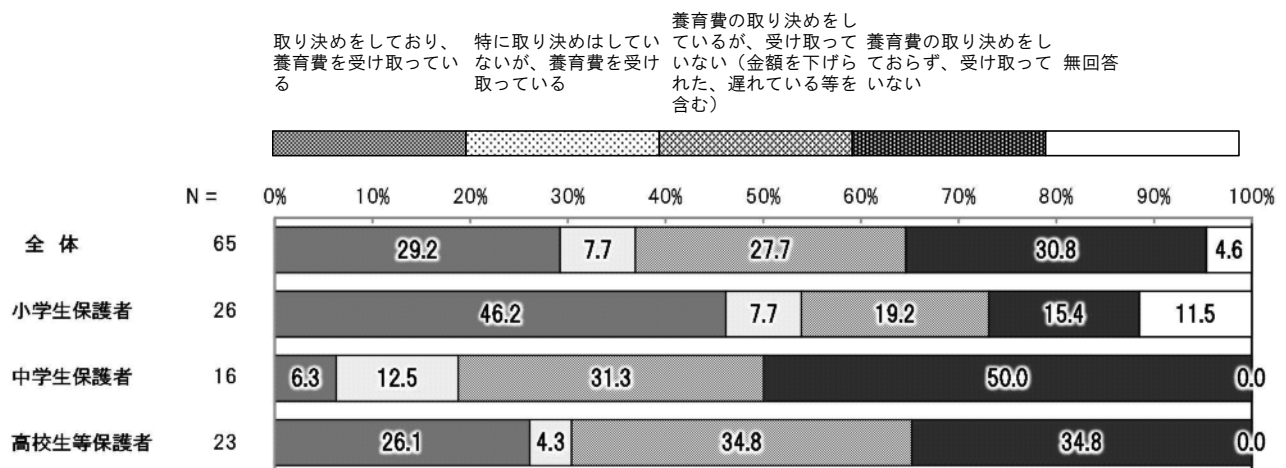
■ 2-1-2) お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。 SA

- ・ 全体、小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「結婚している（事実婚を含む）」が最も多く全体 89.2%、小学生保護者 91.6%、中学生保護者 88.6%、高校生保護者 82.3%でした。いずれも次いで「離婚」が多く全体 5.8%、小学生保護者、中学生保護者 6.5%、高校生保護者 11%でした。

小保 4 中高保 3)

■ 2-1-3) 離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。 SA

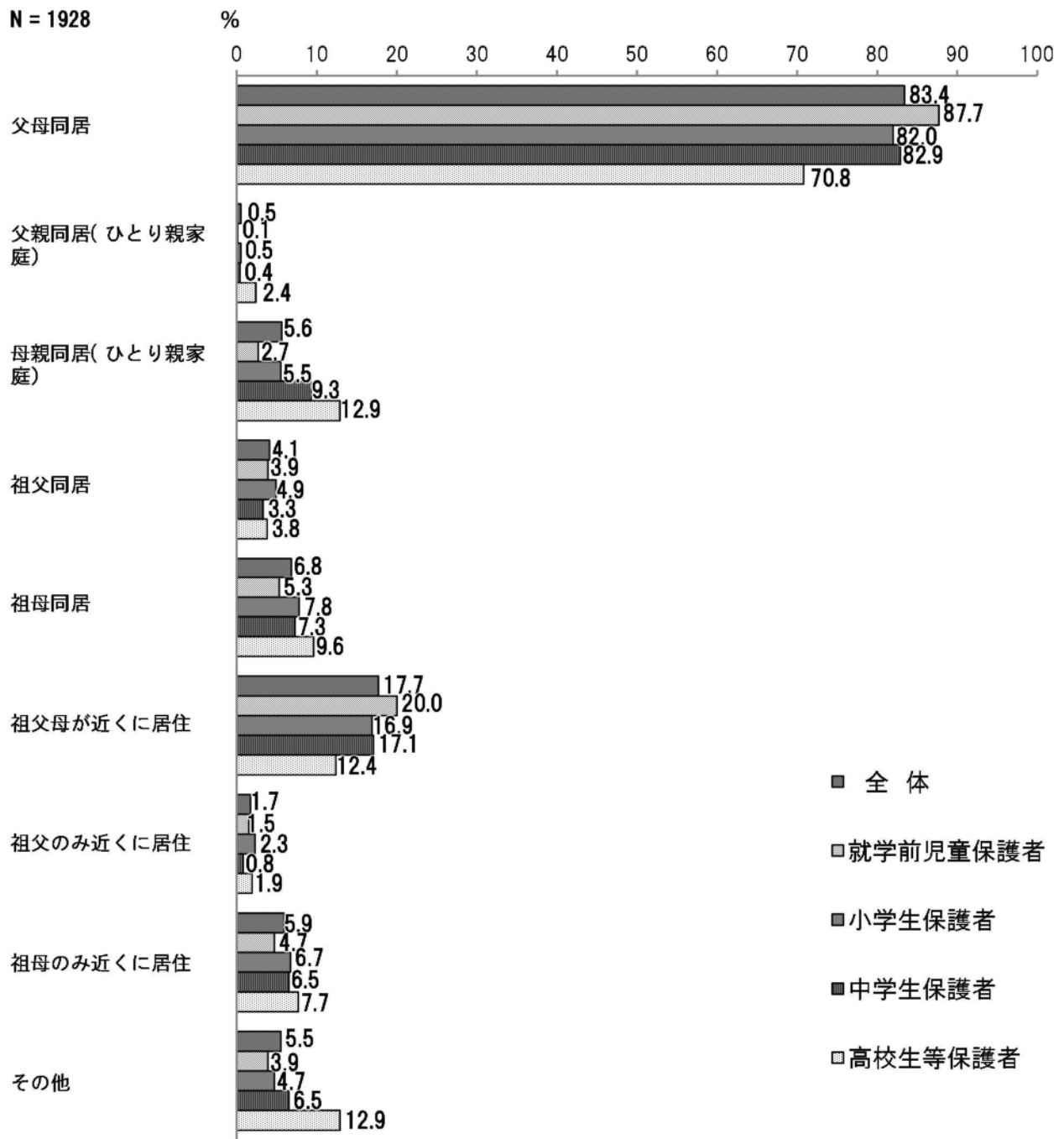
- ・ 小学生保護者は「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が最も多く 46.2%、次いで「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない（金額を下げられた、遅れている等を含む）」が 19.2%でした。
- ・ 中学生保護者は「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が最も多く 50%、次いで「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない（金額を下げられた、遅れている等を含む）」が 31.3%でした。
- ・ 高校生等保護者は「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない（金額を下げられた、遅れている等を含む）」と「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が最も多く 34.8%でした。



小保 4 中高保 3)

■ 2-1-4) お子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について。（複数回答）

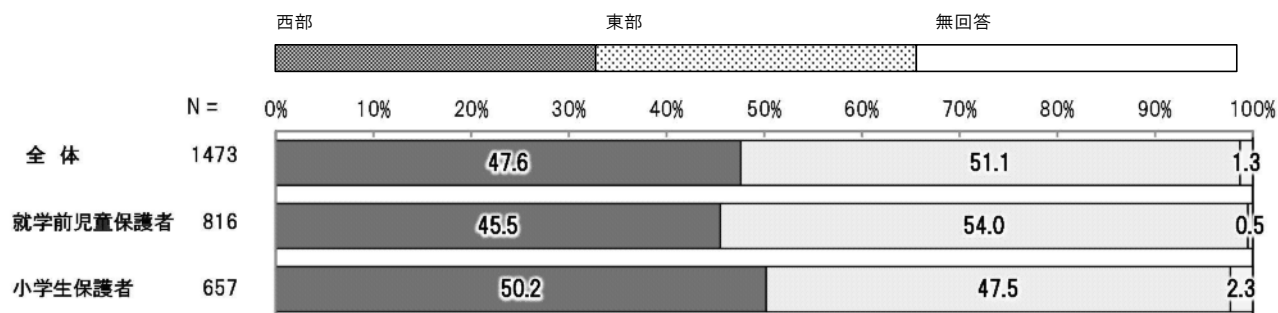
- ・ 小学生保護者と中学生保護者はどちらも「父母同居」が最も多く小学生保護者 82%、中学生保護者 82.9%、次いで「祖父母が近くに居住」で小学生保護者 16.9%、中学生保護者 17.1%でした。



前保 5 小保 6 中高保 5)

■ 2-1-5) お住まいのまちはどこですか。 SA

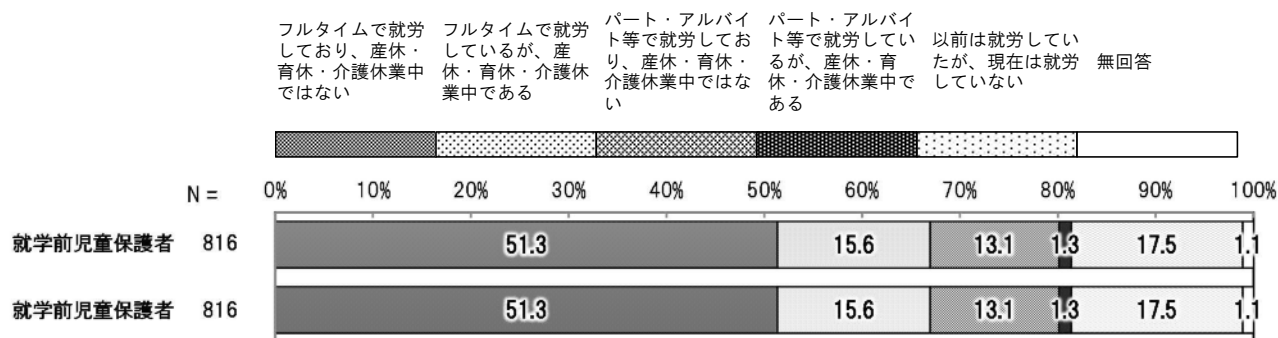
- ・ 就学前児童保護者は「東部」が最も多く 54%で、小学生保護者は「西部」が最も多く 50.2%でした。



前保 6 小保 7)

■ 2-1-6) お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。：母親 SA

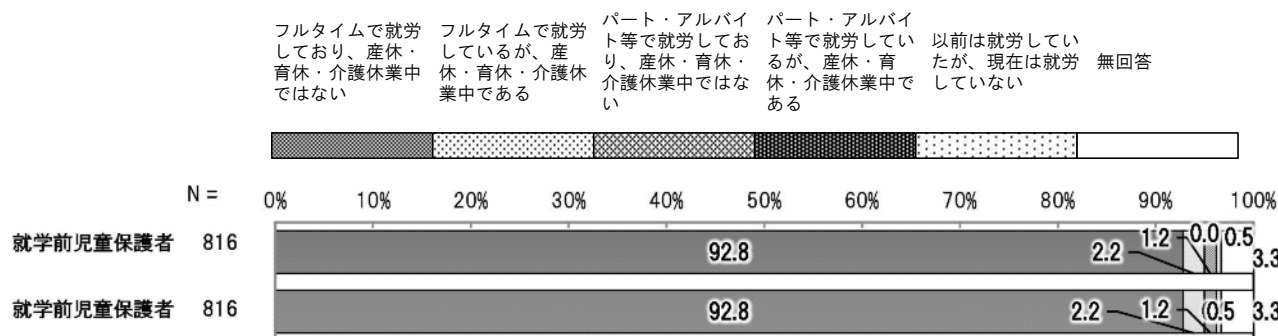
- ・ 就学前児童保護者は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 51.3%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 17.5%でした。



前保 7)

■ 2-1-7) お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。：父親 SA

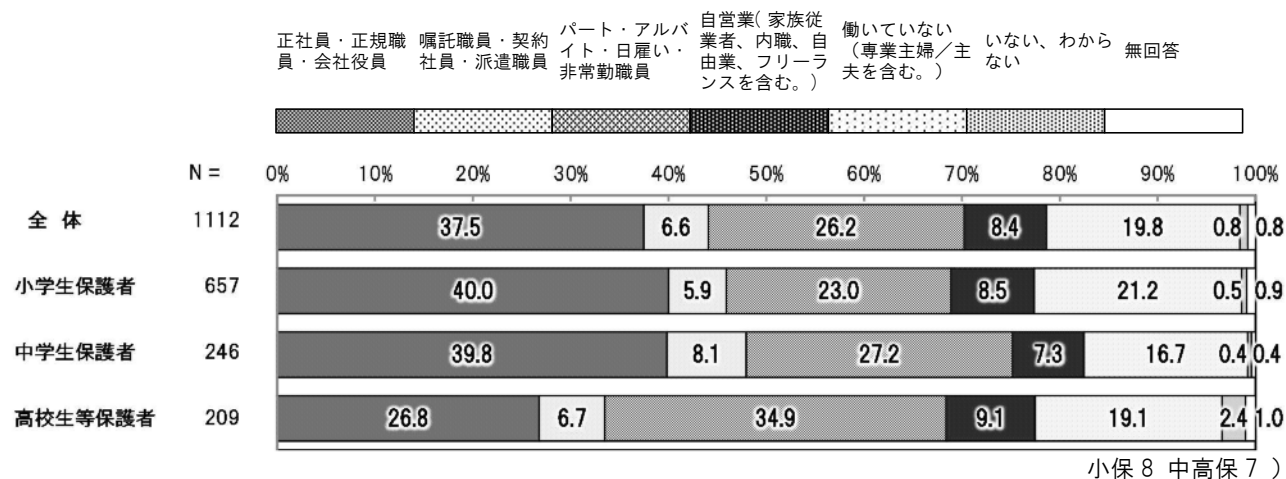
- ・ 就学前児童保護者は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 92.8%でした。



前保 7)

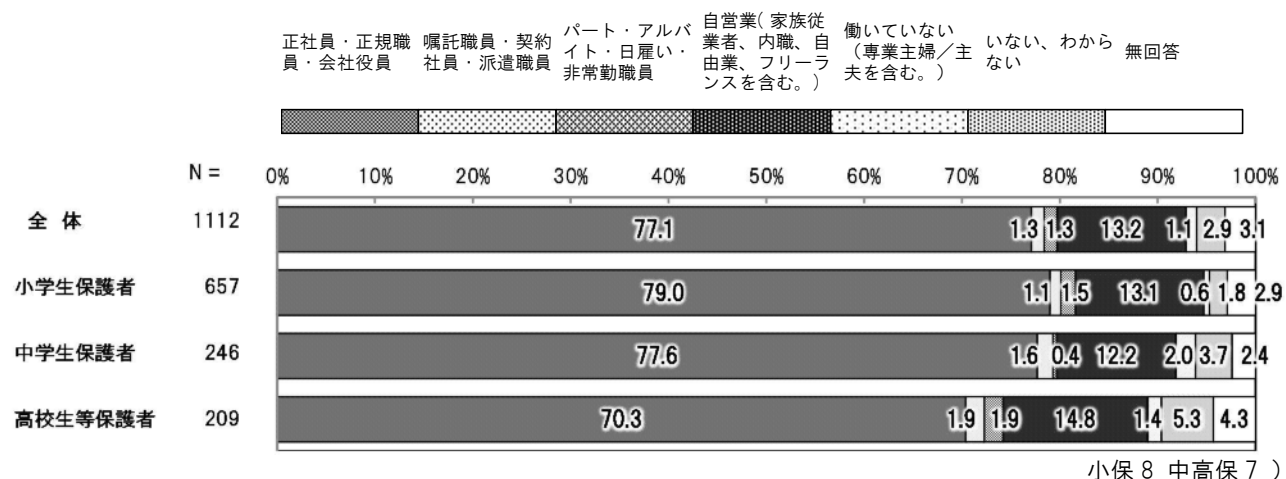
■ 2-1-8) お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。：ア 母親 SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者は「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く小学生保護者 40%、中学生保護者 39.8%、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」で小学生保護者 23%、中学生保護者 27.2%でした。



■ 2-1-9) お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。：イ 父親 SA

- ・ 小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く小学生保護者 79%、中学生保護者 77.6%、高校生保護者 70.3%でした。いずれも次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が多く小学生保護者 13.1%、中学生保護者 12.2%、高校生等保護者 14.8%でした。



2-2 生活困窮の状況

■2-2-1) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：ア 海水浴に行く SA

- ・小学生保護者は「ある」が最も多く15.2%、次いで「(ない) その他の理由で」が14.5%でした。中学生保護者は「(ない) その他の理由で」が最も多く48%、次いで「ある」が24.8%でした。高校生等保護者は「(ない) その他の理由で」が最も多く53.1%、次いで「(ない) 時間の制約で」が26.3%でした。

小保 32 中高保 20)

■2-2-2) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：イ 博物館・科学館・美術館などに行く SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「ある」が最も多く小学生保護者29.2%、中学生保護者48%、高校生等保護者41.1%、次いで「(ない) その他の理由で」が多く小学生保護者6.4%、中学生保護者31.7%、高校生等保護者34.4%でした。

小保 32 中高保 20)

■2-2-3) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：ウ キャンプやバーベキューに行く SA

- ・小学生保護者は「ある」が最も多く17.2%、次いで「(ない) その他の理由で」が14.6%でした。中学生保護者は「(ない) その他の理由で」が最も多く45.5%、次いで「ある」が32.5%でした。高校生等保護者は「(ない) その他の理由で」が最も多く47.4%、次いで「(ない) 時間の制約で」が23.9%でした。

小保 32 中高保 20)

■2-2-4) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：エ スポーツ観戦や劇場に行く SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者は「ある」が最も多く小学生保護者27.4%、中学生保護者53.3%、高校生等保護者46.4%、次いで「(ない) その他の理由で」が多く小学生保護者8.4%、中学生保護者29.3%、高校生等保護者29.7%でした。

小保 32 中高保 20)

■2-2-5) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。：オ 遊園地やテーマパークに行く SA

- ・中学生保護者と高校生等保護者は「ある」が最も多く中学生保護者63.4%、高校生等保護者41.1%、次いで「(ない) その他の理由で」が多く中学生保護者21.1%、高校生等保護者34%でした。

小保 32 中高保 20)

■2-2-6) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：ア 毎月お小遣いを渡す SA

- ・ 中学生保護者と高校生等保護者は「している」が最も多く中学生保護者 67.5%、高校生等保護者 76.1%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-7) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：イ 毎年新しい（お古でない）洋服・靴を買う SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「している」が最も多く小学生保護者 38.5%、中学生保護者 95.9%、高校生等保護者 92.3%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-8) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：ウ 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「している」が最も多く小学生保護者 36.7%、中学生保護者 72%、高校生等保護者 51.2%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-9) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：エ 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンライン含む） SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「している」が最も多く小学生保護者 31.4%、中学生保護者 69.9%、高校生等保護者 57.4%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-10) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：オ お誕生日のお祝いをする SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「している」が最も多く小学生保護者 42%、中学生保護者 97.6%、高校生等保護者 97.1%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-11) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：カ 1年に1回くらい家族旅行に行く SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「している」が最も多く小学生保護者 35.5%、中学生保護者 80.1%、高校生等保護者 67%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-12) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：キ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる SA

- ・ 小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「している」が最も多く小学生保護者 40.8%、中学生保護者 95.5%、高校生等保護者 91.9%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-1 3) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：ク 修学旅行などお金がかかる学校の活動 SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「している」が最も多く小学生保護者 41.1%、中学生保護者 98.8%、高校生等保護者 96.2%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-1 4) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：ケ パソコンかタブレットを与える SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「している」が最も多く小学生保護者 23.6%、中学生保護者 75.6%、高校生等保護者 83.3%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-1 5) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。：コ スマートフォンを与える SA

- ・中学生保護者と高校生等保護者は「している」が最も多く中学生保護者 87.8%、高校生等保護者 95.7%でした。

小保 33 中高保 21)

■2-2-1 6) あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。 SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「まったくなかった」「まれにあった」の合計が「よくあった」「ときどきあった」の合計より多く、小学生保護者 40.4%、中学生保護者 96%、高校生等保護者 93.7%でした。

小保 34 中高保 23)

■2-2-1 7) あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。 SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「まったくなかった」「まれにあった」の合計が「よくあった」「ときどきあった」の合計より多く、小学生保護者 40.8%、中学生保護者 97.2%、高校生等保護者 92.8%でした。

小保 35 中高保 24)

■2-2-1 8) あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。 (複数回答)

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者は「あてはまるものはない」が最も多く小学生保護者 41.4%、中学生保護者 97.2%、高校生等保護者 95.7%、次いで「電気料金」が多く小学生保護者 1.1%、中学生保護者 2.4%、高校生等保護者 3.3%でした。

小保 36 中高保 25)

■2-2-19) 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはどれですか。
(複数回答)

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「あてはまるものはない」が最も多く小学生保護者 28.5%、中学生保護者 67.5%、高校生等保護者 67.5%、次いで「自家用車」が多く小学生保護者 9.3%、中学生保護者 22%、高校生等保護者 20.1%でした。

小保 37 中高保 22)

■2-2-20) お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。：ア 母親 SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「大学またはそれ以上」が最も多く、小学生保護者 25.1%、中学生保護者 50.8%、高校生等保護者 45.9%でした。次いで「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が多く、小学生保護者 12.9%、中学生保護者 32.1%、高校生等保護者 31.6%でした。

小保 38 中高保 6)

■2-2-21) お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。：イ 父親 SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「大学またはそれ以上」が最も多く、小学生保護者 30.4%、中学生保護者 70.3%、高校生等保護者 67.5%でした。次いで「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が多く、小学生保護者 6.4%、中学生保護者 13.8%、高校生等保護者 14.4%でした。

小保 38 中高保 6)

■2-2-22) 2022 年(令和 4 年 1 月から令和 4 年 12 月)の世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。 SA

- ・小学生保護者と中学生保護者、高校生等保護者はいずれも「1000 万円以上」が最も多く小学生保護者 17.7%、中学生保護者 50.4%、高校生等保護者 45.9%でした。次いで「900 ～ 1000 万円未満」が多く、小学生保護者 5.6%、中学生保護者 8.5%、高校生等保護者 7.2%でした。

小保 29 中高保 8)

2-3 子どもの学力

■2-3-1) あなたの成績は、クラスでどのくらいだと思いますか。 SA

- ・中学生と高校生等は「まん中あたり」が最も多く中学生 26.3%、高校生等 29.1%、次いで「上のほう」が多く中学生 21.8%、高校生等 21.6%でした。

		あなたの成績は、クラスでどのくらいだと思いますか。 上段：実数、下段：%						
		調査数	上のほう	やや上のほう	まん中あたり	やや下のほう	下のほう	わからない
対象	全 体	539 100.0	113 21.0	126 23.4	150 27.8	64 11.9	51 9.5	31 5.8
	小学4-6 年生	213 100.0	42 19.7	60 28.2	59 27.7	15 7.0	15 7.0	21 9.9
	中学生	180 100.0	39 21.7	37 20.6	48 26.7	33 18.3	20 11.1	3 1.7
	高校生等	146 100.0	32 21.9	29 19.9	43 29.5	16 11.0	16 11.0	7 4.8

小中 14 高 11)

3 困難を抱える状況

3-1 生活困難について

本調査では、本調査では、子育て世帯の困難状況を把握するため、所得と家計圧迫による生活困難度で区分し、経済的な背景による生活困難を抱えていると考えられる家庭の状況を分析しました。

区分基準	目的・根拠	細区分		区分方法
生活困難	経済面での困難の状況を把握する 東京都子供の生活実態調査（平成 29 年 3 月）を参考	一般層		下記以外
		生	周辺層	困窮層の①～③のいずれかにあてはまる世帯
		生活困難層	困窮層	以下のすべてにあてはまる世帯 ①等価可処分所得 ^{※1} が厚生労働省「2022 年国民生活基礎調査」 ^{※2} による 2021（令和 3）年の貧困線「127 万円」未満 ②家計の圧迫（電気料金、ガス料金、水道料金、食料、衣服が払えない状況） ③子どもの体験や所有物に関する 15 項目 ^{※3} のうち経済的な理由で欠如しているのが 3 項目以上

- ・「困窮層」は 6.9%、「周辺層」は 13.1%、「困窮層」と「周辺層」である「生活困難層」は 19.9%でした。

調査数	生活困難層区分 上段：実数、下段：%			
	生活困難層			一般層
		困窮層	周辺層	
452	90	31	59	362
100.0	19.9	6.9	13.1	80.1

※1 収入のうち、税金や社会保険料などを除いた所得で、自分で自由に使える手取り収入のこと。給与所得者の場合は、「給与収入金額－（社会保険料＋所得税・住民税の額）」がこれに当たる。

※2 保健、医療、福祉、年金、所得など国民生活の基礎的な事柄について調査することを目的として、1986 年（昭和 61 年）から厚生労働省が毎年実施している。相対的貧困率については 3 年ごとに算出されている

※3 子どもの体験や所有物に関する 15 項目：1)海水浴に行く、2)博物館・科学館・美術館などに行く、3)キャンプやバーベキューに行く、4)スポーツ観戦や劇場に行く、5)遊園地やテーマパークに行く、6)毎月お小遣いを渡す、7)毎年新しい（お古でない）洋服・靴を買う、8)習い事（音楽、スポーツ、習字（しゅうじ）等）に通わせる、9)学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンライン含む）、10)お誕生日のお祝いをする、11)年に 1 回くらい家族旅行に行く、12)クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる、13)修学旅行などお金がかかる学校の活動、14)パソコンかタブレットを与える、15)スマートフォンを与える

3-2 広義のひきこもり群

本調査では、「こども・若者の意識と生活に関する調査」（令和5年3月内閣府）の定義による「広義のひきこもり群」を算出しました。

- ・「狭義のひきこもり群」は0で、「準ひきこもり群」は2.4%、「狭義のひきこもり群」と「準ひきこもり群」である「広義の引きこもり群」は2.4%でした。

調査数	ひきこもり細区分 上段：実数、下段：%			
	狭義のひきこもり群	準ひきこもり群	広義のひきこもり群以外	無回答
452	0	11	431	10
100.0	0.0	2.4	95.4	2.2

3-3 家庭の社会経済的背景(SES)の最下層の回復力(レジリエンス)の分析(検討中)

家庭の社会経済的背景 (SES) は学力などに強い影響があると言われています。家庭の社会経済的背景 (SES) 最下層の家庭の子どもうち、学校の成績が高い、あるいは幸福度が高い子どもについて、保護者とのかかわりや子どもの社会的情動 (自己肯定感などの非認知脳力) を把握することで、困難な環境に対応する柔軟さ・回復力 (レジリエンス) となる要因を分析します。

分析にあたっては、国際比較学力調査 (PISA)、平成 25, 29 年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究 (文部科学省調査、国立大学法人お茶の水女子大学実施) で採用された方法を参考とします。

区分基準	SES 4 区分		レジリエンス区分			
			成績		幸福度	
家庭の社会経済的背景 (SES)	最上層 Highest SES	等価世帯収入 ^{※4} と両親の学歴 (教育年数、例: 大学卒業は 16 年間) を標準化した上で平均値を算出し、その高低で 4 区分した。 なお、社会学において家庭環境 (社会経済的背景) は、所得、学歴、職業の 3 つの要素からなるとされており、数値に変換することが難しい職業以外の所得、学歴を区分対象とした。(平成 25, 29 年文部科学省調査より)	SES 上位 3/4 で成績まん中以上	成績が「上のほう」「やや上のほう」「まん中あたり」	SES 上位 3/4 で幸福	「しあわせだと思いますか」の間に、「そう思う」
	準上層 Upper SES		SES 上位 3/4 で成績下位	成績が「下のほう」「やや下のほう」	SES 上位 3/4 でまあ幸福・幸福でない	「しあわせだと思いますか」の間に、「そう思う」以外
	準下層 Lower SES		SES 下位 1/4 で成績まん中以上	成績が「上のほう」「やや上のほう」「まん中あたり」	SES 下位 1/4 で幸福	「しあわせだと思いますか」の間に、「そう思う」
	社会的経済背景に対する回復力		SES 下位 1/4 で成績下位	成績が「下のほう」「やや下のほう」	SES 下位 1/4 まあ幸福・幸福でない	「しあわせだと思いますか」の間に、「そう思う」以外

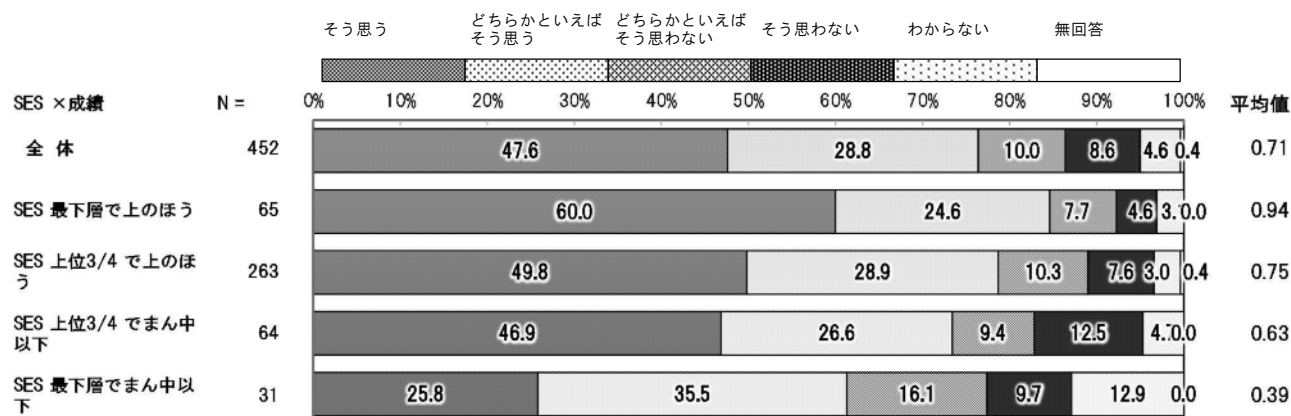
本調査では、学校の成績と幸福度をレジリエンスを測る指標の候補としました。目標像やわかりやすさを踏まえて、どちらかを採用する予定です。

以下に分析例を掲載しました。

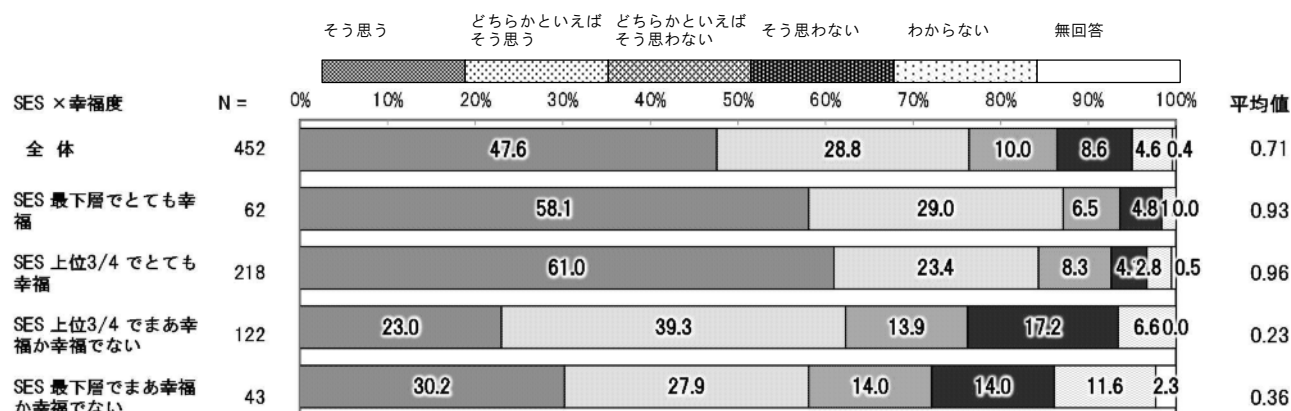
^{※4} 世帯収入を世帯人数の平方根で割ってひとりあたりの世帯収入として調整したもの。光熱水費や住居費などの世帯ごとに要する生活費は、世帯人数が多くなるにつれて割安となる傾向があるため、世帯人数の平方根で割って調整する。相対的貧困率の算出と同じ計算方法。

■ 3-3-1) 小中 5 高 6) 学校で出会った友人と、あなたの現在のかかわり：ア 何でも悩みを相談できる人がある SA

- ・「SES 最下層で成績がまん中より上のほう」の子どもは、「SES 上位 3/4 で成績がまん中より上のほう」の子どもより、何でも悩みを相談できる人の子が多く、「そう思う」が 60.0%でした。



- ・「SES 最下層でとても幸福」の子どもは、「SES 上位 3/4 でとても幸福」の子どもの次に、何でも悩みを相談できる人の子が多く、「そう思う」が 58.1%でした。

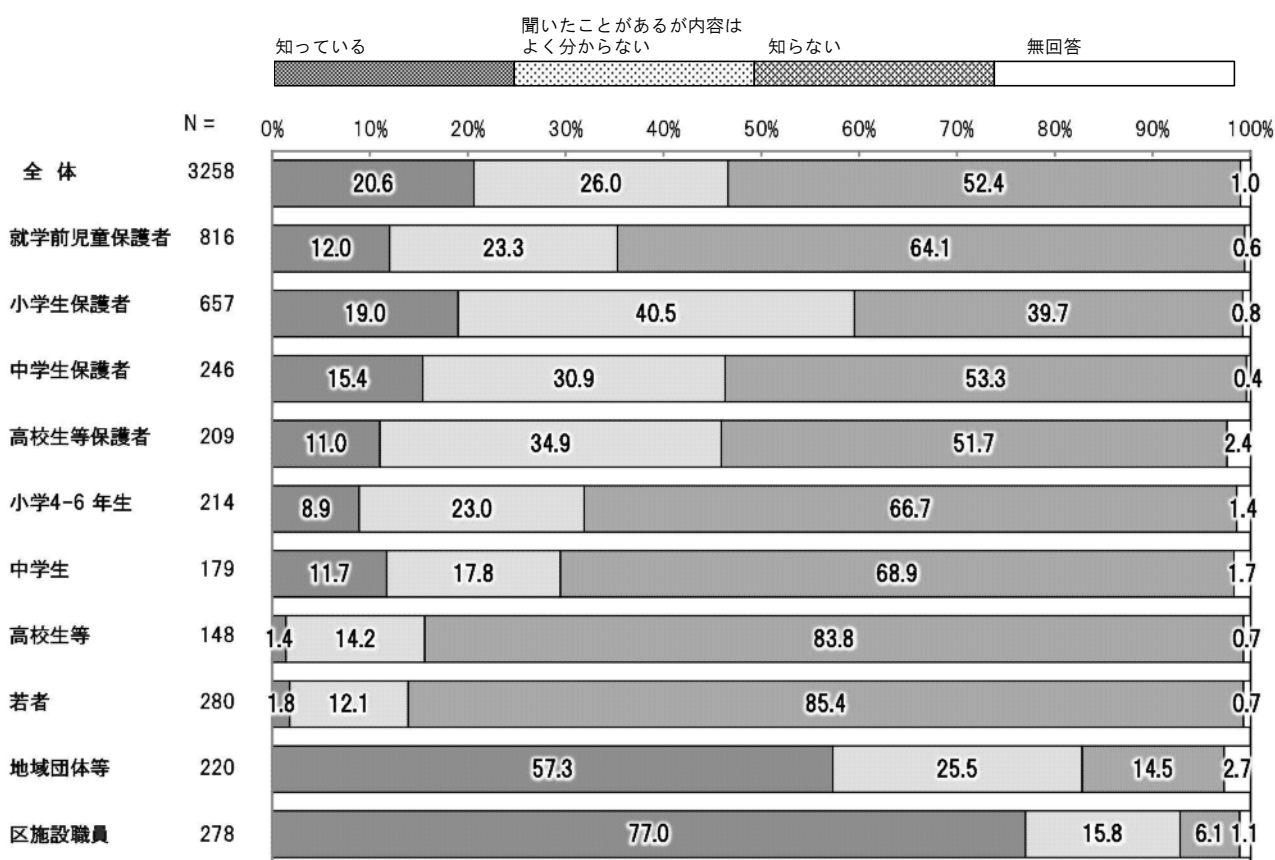


4 豊島区子どもの権利条例について

4-1 豊島区子どもの権利条例について

■ 4-1-1) 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。 SA

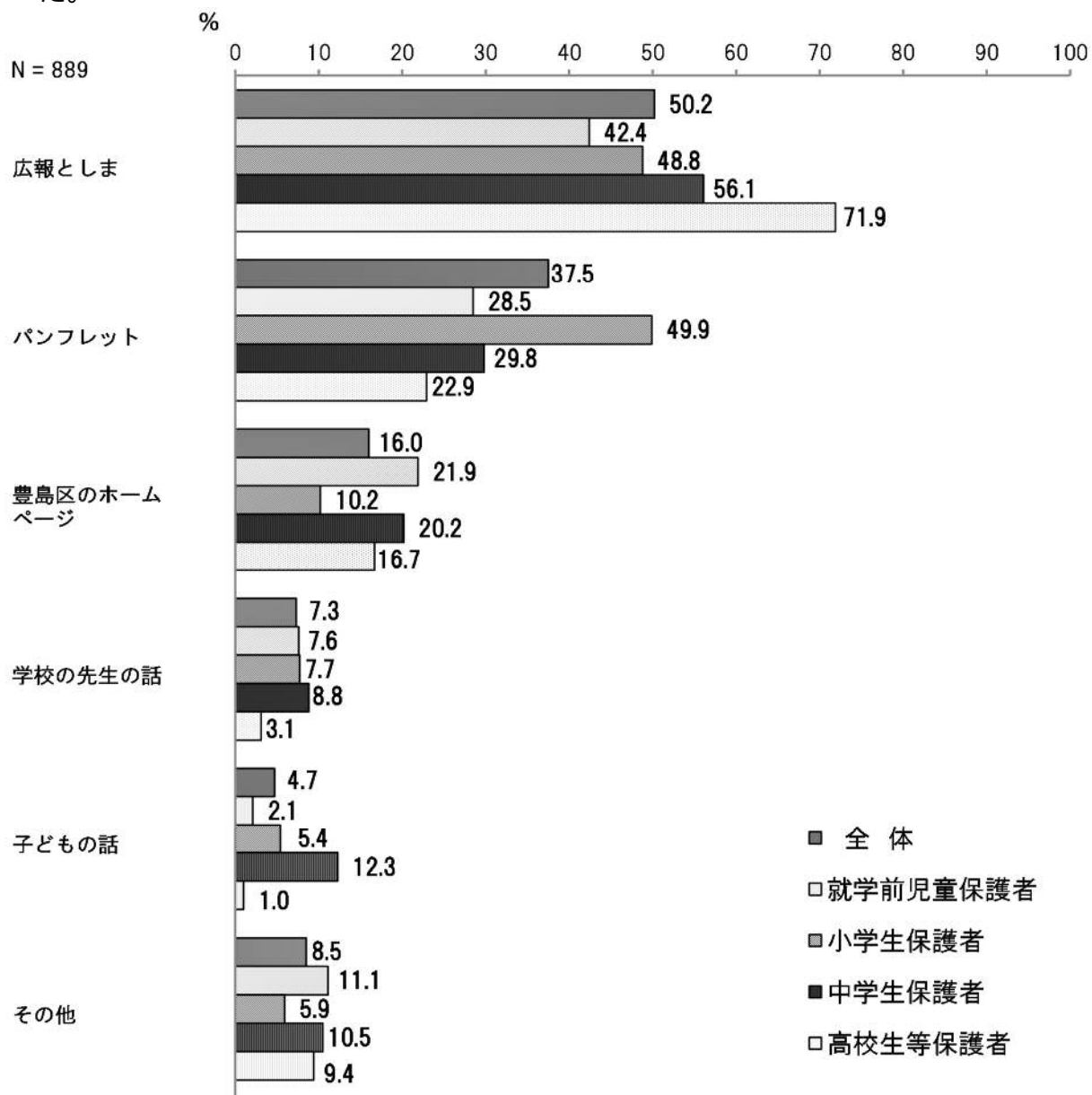
- ・「全体は「知らない」が最も多く 52.4%、次いで「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が 26.0%でした。
- ・小学生保護者は「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が最も多く 40.5%、次いで「知らない」が 39.7%でした。
- ・就学前児童保護者、中学生保護者、高校生等保護者、小学4-6年生、中学生、高校生等、若者は「知らない」が最も多く、就学前児童保護者は 64.1%、中学生保護者は 53.3%、高校生等保護者は 51.7%、小学4-6年生は 66.7%、中学生は 68.9%、高校生等は 83.8%、若者は 85.4%で、地域団体等、区施設職員が「知っている」が最も多く、地域団体等は 57.3%、区施設職員は 77.0%でした。



団 10 職 12 前保 32 小保 22 中高保 28 小中 24 高 25 若 19)

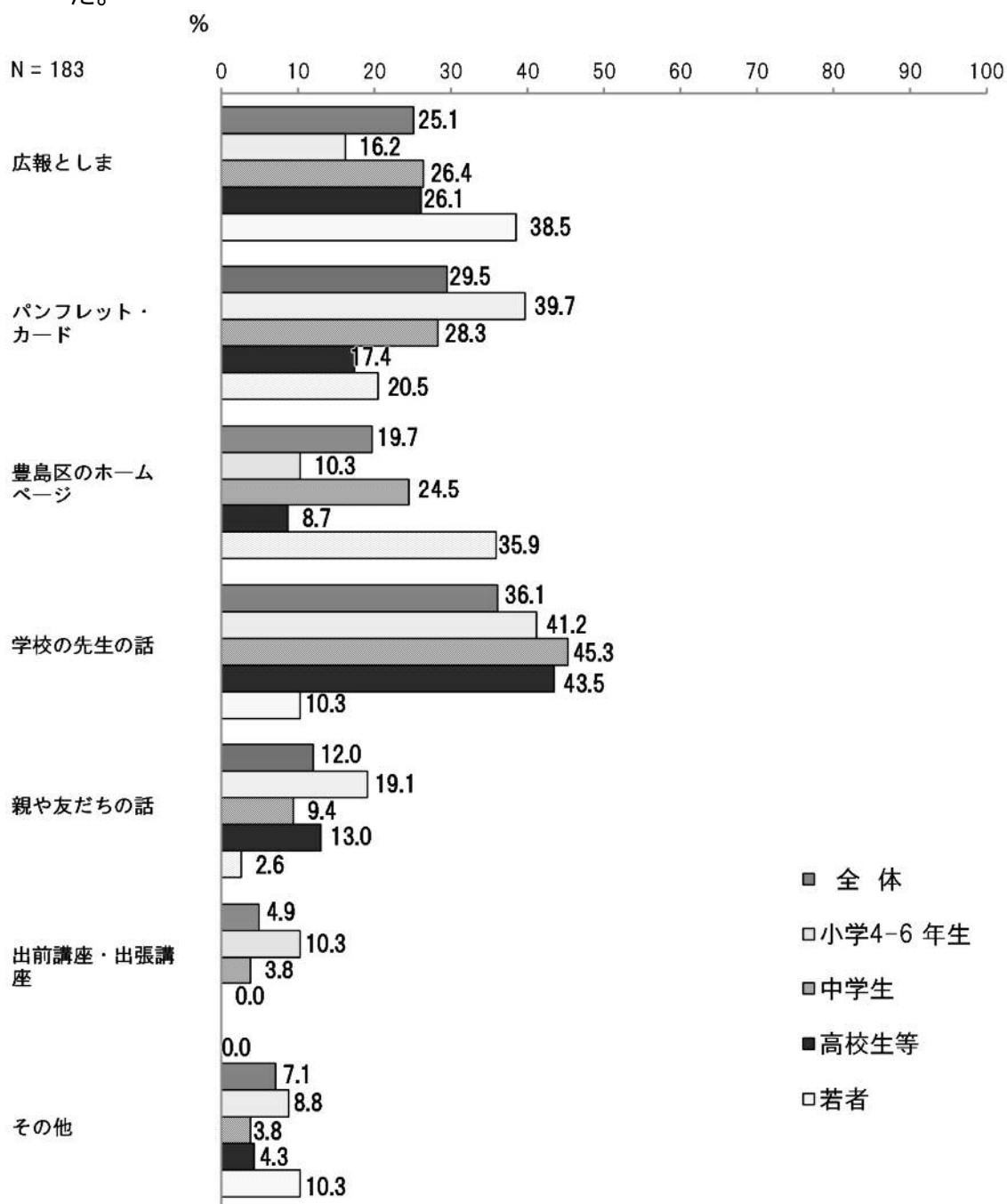
■ 4-1-2) どのように知りましたか。 (複数回答)

- ・ 就学前児童保護者、中学生保護者、高校生等保護者は「広報としま」が最も多くそれぞれ 42.4%、56.1%、71.9%でした。
- ・ 小学生保護者は「パンフレット」が最も多く 49.9%、次いで「広報としま」が 48.8%でした。



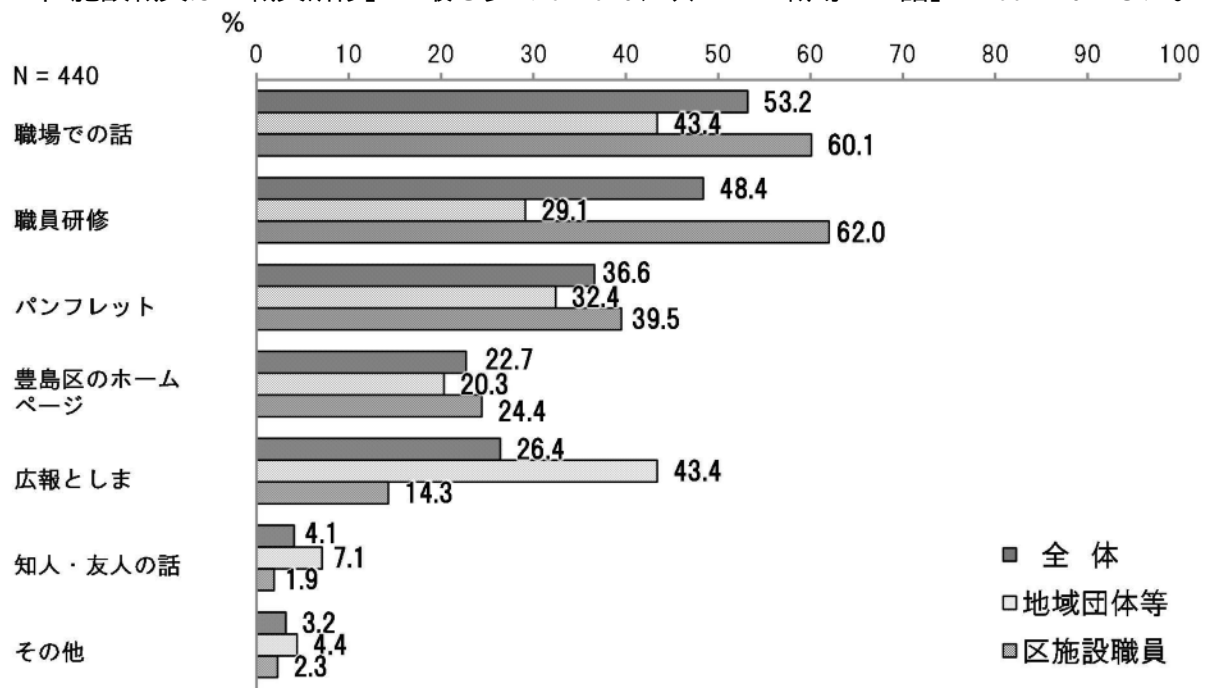
前保 32 小保 22 中高保 28)

- ・ 小学 4-6 年生、中学生、高校生等は「学校の先生の話」が最も多く、それぞれ 41.2%、45.3%、43.5%、小学 4-6 年生は「パンフレット・カード」も多く、39.7%でした。
- ・ 若者は「広報としま」が最も多く 38.5%、次いで「豊島区のホームページ」が 35.9%でした。



小中 24 高 25 若 19)

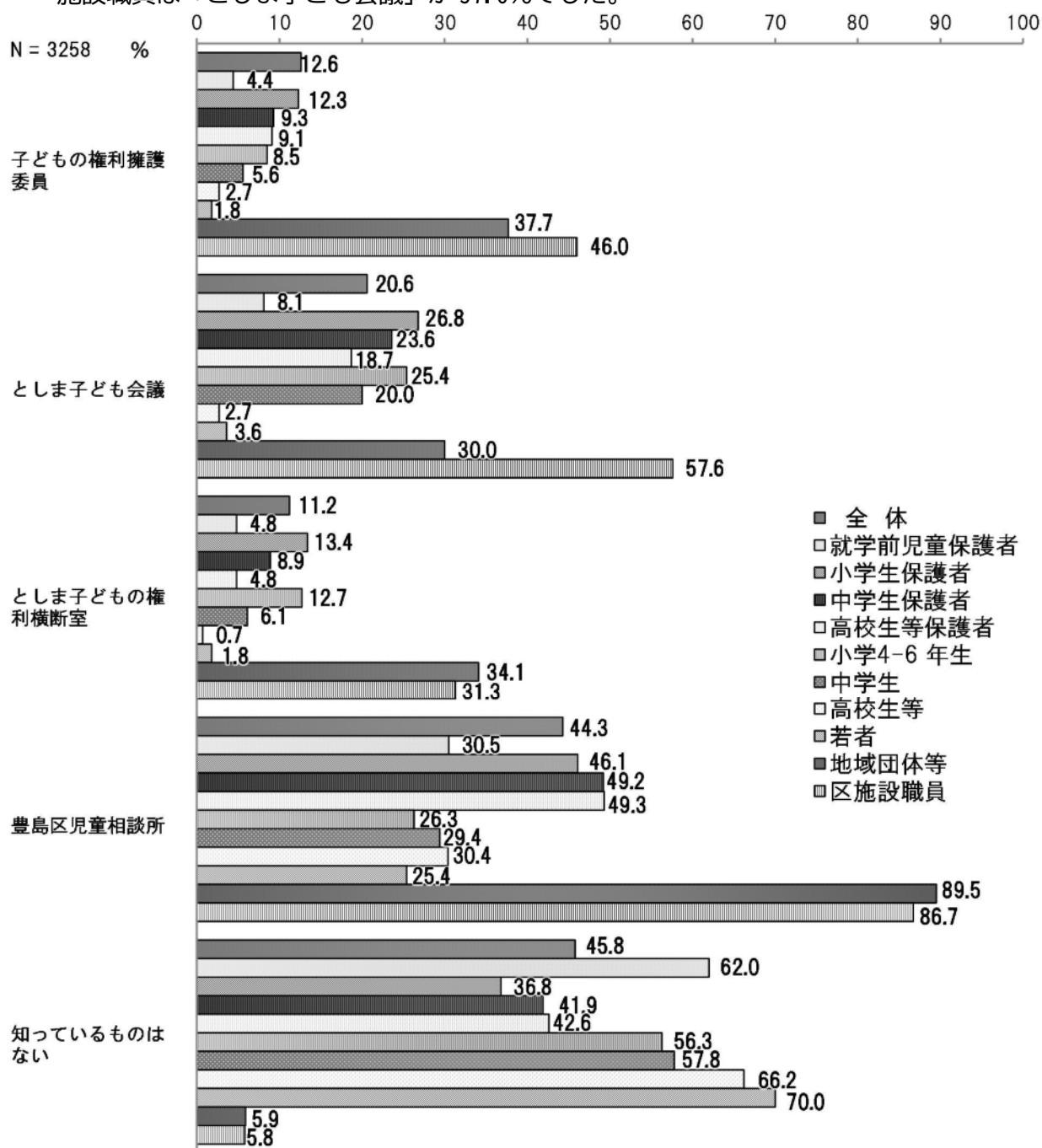
- ・ 地域団体等は「広報としま」が最も多く 43.4%、次いで「職場での話」が 43.4%でした。
- ・ 区施設職員は「職員研修」が最も多く 62.0%、次いで「職場での話」が 60.1%でした。



団 10 職 12)

■ 4-1-3) 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。 (複数回答)

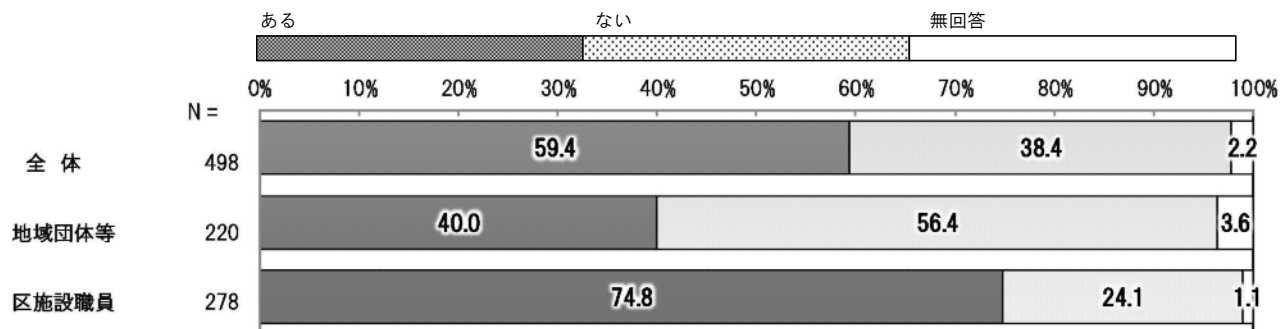
- ・ 就学前児童保護者は「知っているものはない」が最も多く 62%、次いで「豊島区児童相談所」が 30.5%でした。
- ・ 小学生保護者、中学生保護者、高校生等保護者は「豊島区児童相談所」が最も多く、それぞれ小学生保護者は 46.1%、中学生保護者は 49.2%、高校生等保護者は 49.3%でした。
- ・ 小学 4-6 年生、中学生、高校生等、若者は「知っているものはない」が最も多く、それぞれ小学 4-6 年生は 56.3%、中学生は 57.8%、高校生等は 66.2%、若者は 70%でした。
- ・ 地域団体等、区施設職員は「豊島区児童相談所」が最も多く、地域団体等は 89.5%、区施設職員は 86.7%で、次に多い回答は、地域団体等は「子どもの権利擁護委員」が 37.7%、区施設職員は「としま子ども会議」が 57.6%でした。



団 12 職 14 前保 33 小保 23 中高保 29 小中 25 高 26 若 20)

■ 4-1-4) あなたの地域や団体では、あなたが「子どもの権利」を学ぶ機会がありますか。
(複数回答)

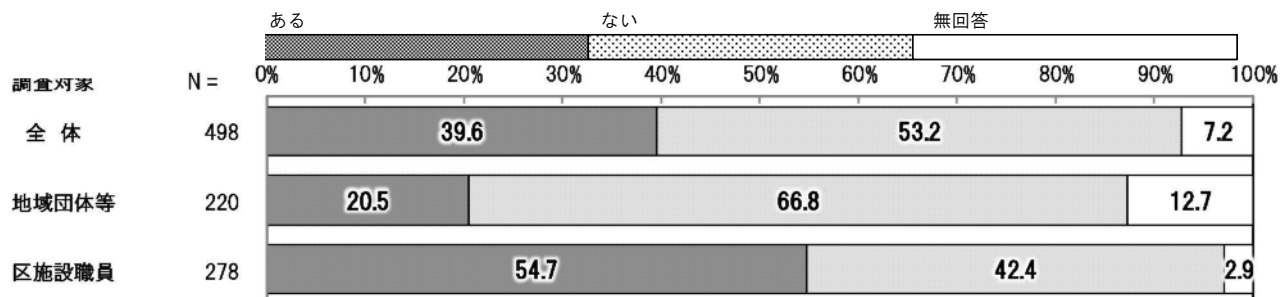
- ・ 地域団体等は「ない」が 56.4%、区施設職員は「ある」が 74.8%でした。



団 13 職 15)

■ 4-1-5) あなたの地域や団体では、子どもが「子どもの権利」を学ぶ機会がありますか。
(複数回答)

- ・ 地域団体等は「ない」が 66.8%、区施設職員は「ある」が 54.7%でした。

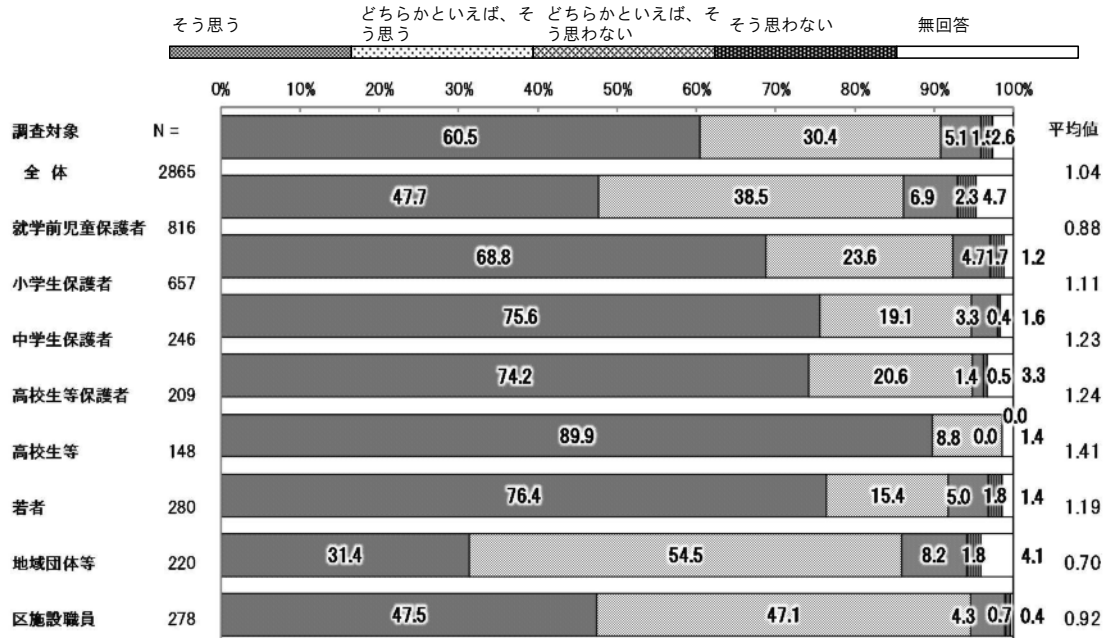


団 14 職 16)

4-2 7つの子どもの権利が守られているか

■4-2-1) 愛情と理解をもって育まれ、差別を受けずに安心・安全な環境で生活でき、虐待や体罰、いじめを受けない。 SA

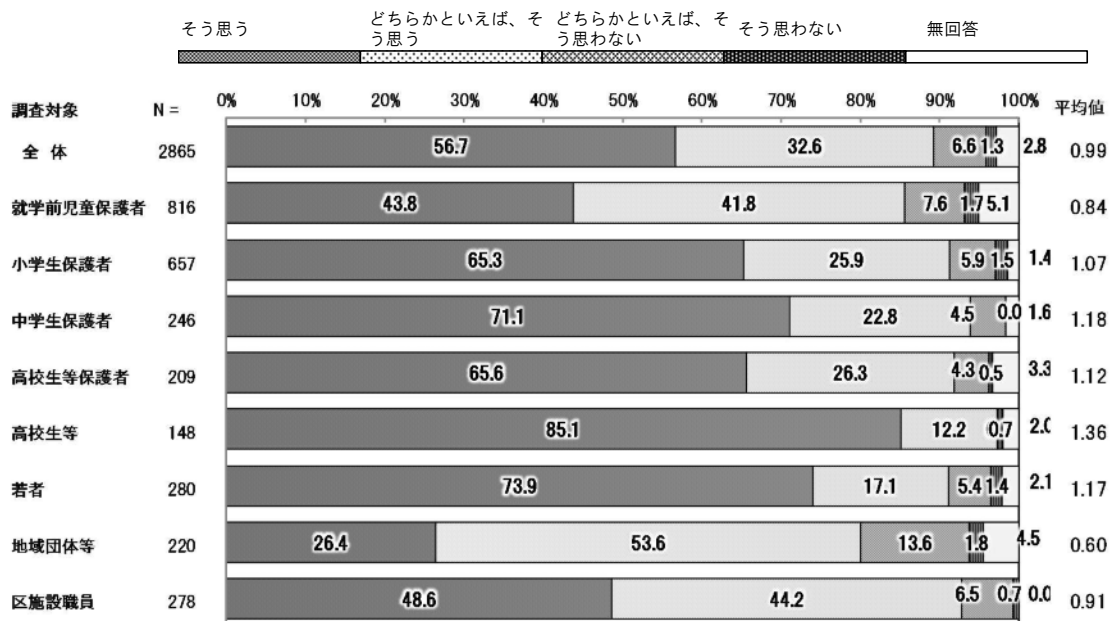
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い就学前児童保護者で86.2%、最も高い高校生等で98.7%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-2) 一人ひとりの違いが認められ、自分らしさを大切にしながら成長することができる。プライバシーが尊重される。 SA

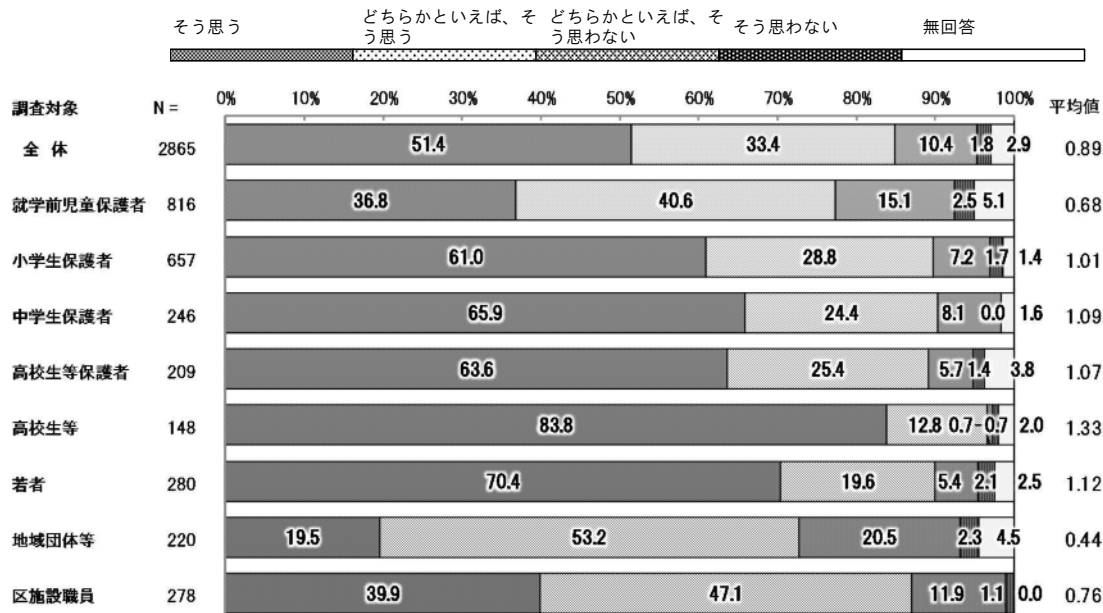
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で80.0%、最も高い高校生等で97.3%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-3) 自分の成長に合わせて、自分のことを決められる。必要な情報は周りの人から分かりやすく説明してもらえる。 SA

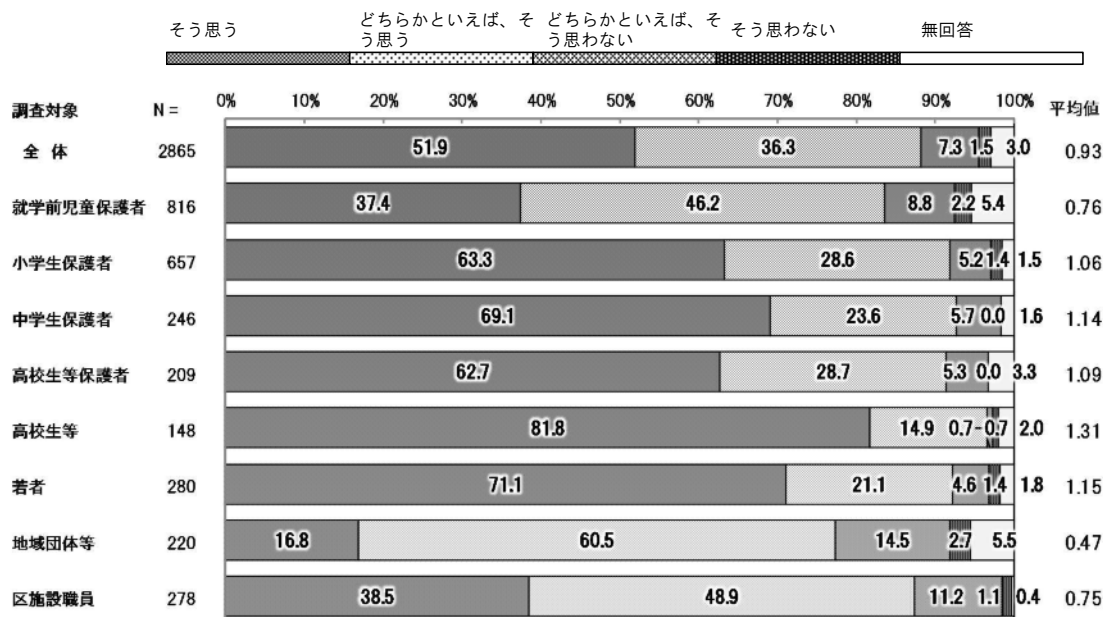
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で72.7%、最も高い高校生等で96.6%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-4) 自分の思っていることを人に伝えることができ、家や学校で何かを決めるときに意見が尊重される。 SA

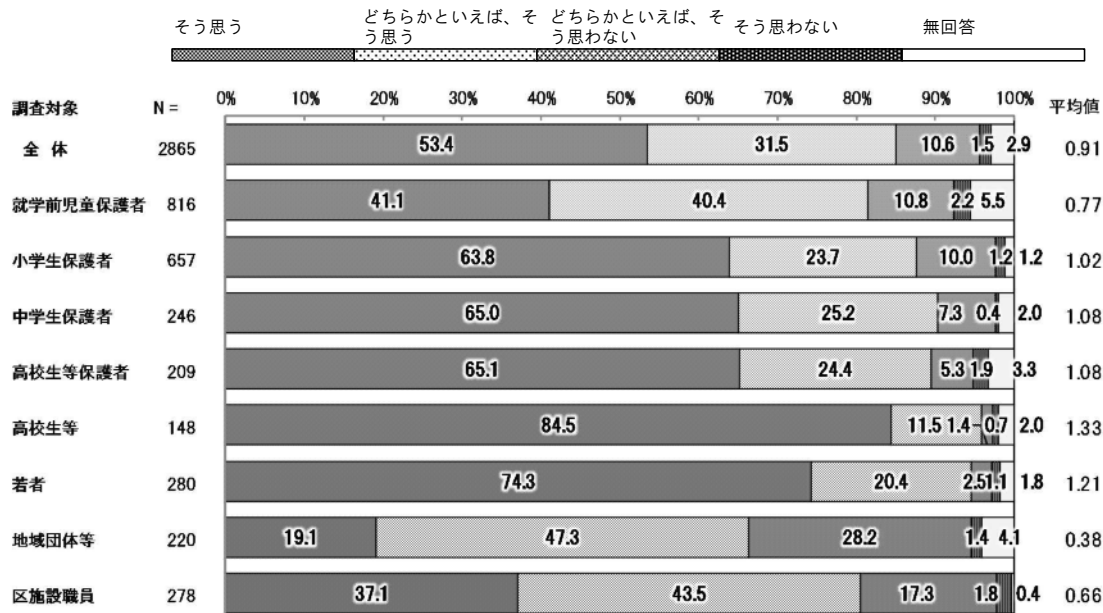
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で77.3%、最も高い高校生等で96.7%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-5) 自分の成長に合わせて遊んだり、学んだり、仲間と集まることができる。休んだり自由な時間を過ごすことができる。 SA

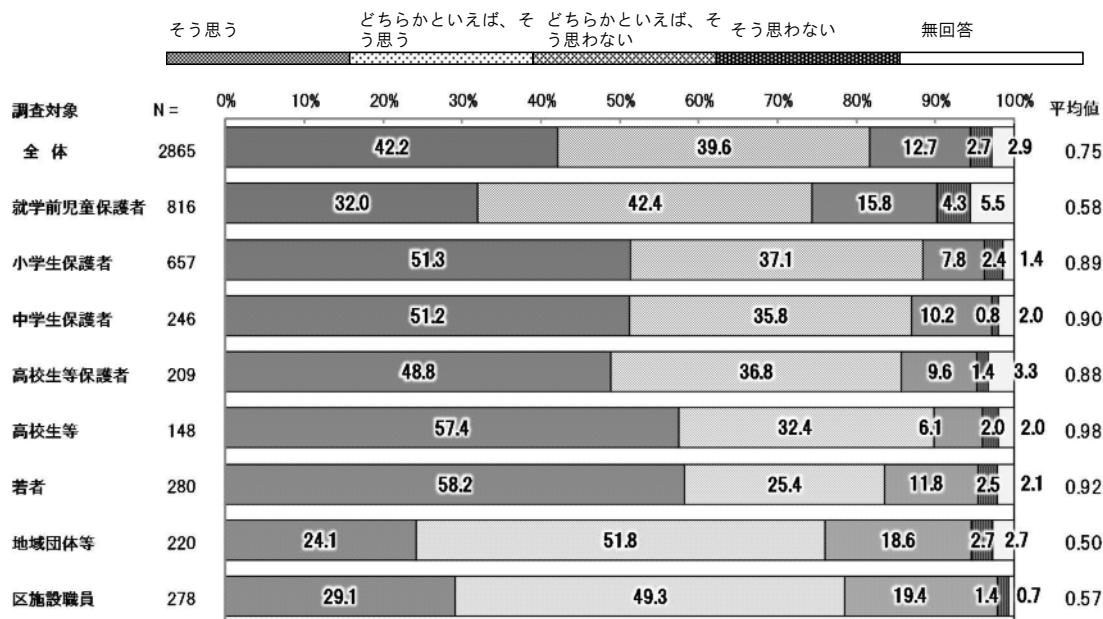
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で 66.4%、最も高い高校生等で 96.0%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-6) 大切な地域の一員として地域活動に参加することができる。地域の文化や伝統を学び、地域をよく知ることができる。 SA

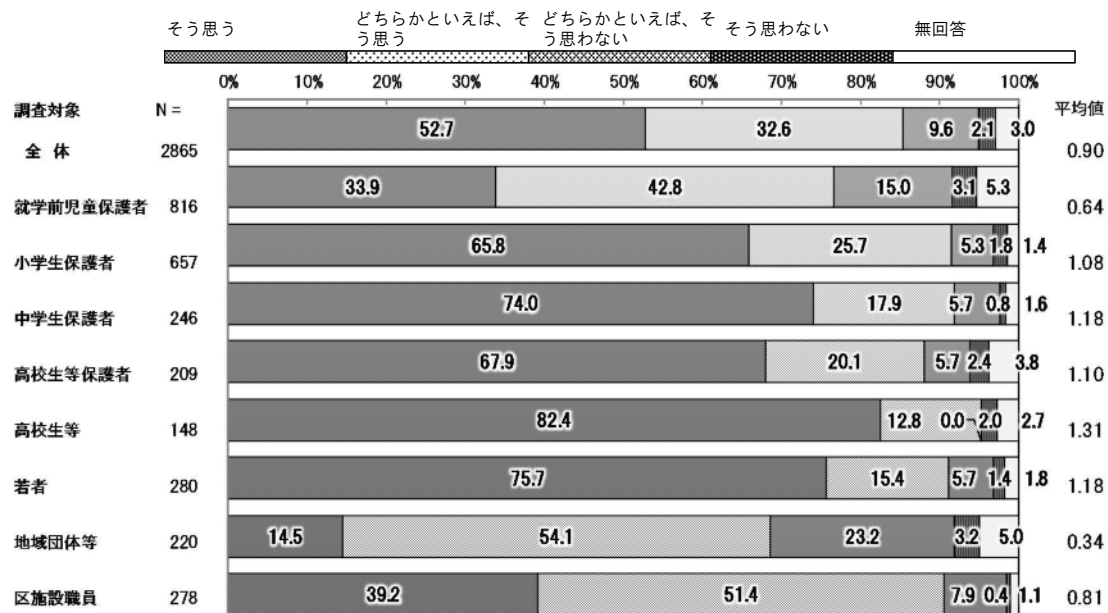
- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い就学前児童保護者で 74.4%、最も高い高校生等で 89.8%でした。



団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

■4-2-7) 不安に思うことや困っていることを相談でき、虐待や体罰、いじめなどにあったときは助けを求める事ができる。 SA

- すべての対象で、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、最も低い地域団体等で 68.6%、最も高い高校生等で 95.2%でした。

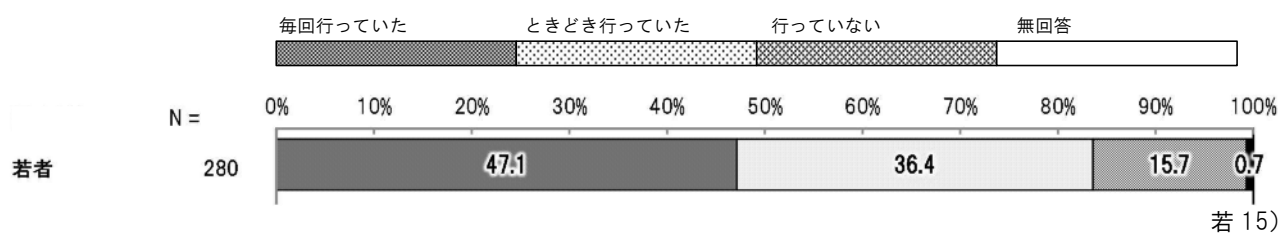


団 11 職 13 前保 36 小保 25 中高保 31 高 27 若 21)

4-3 子どもの意見表明について

■4-3-1) これまでに国政選挙や地方選挙に行っていますか。 SA

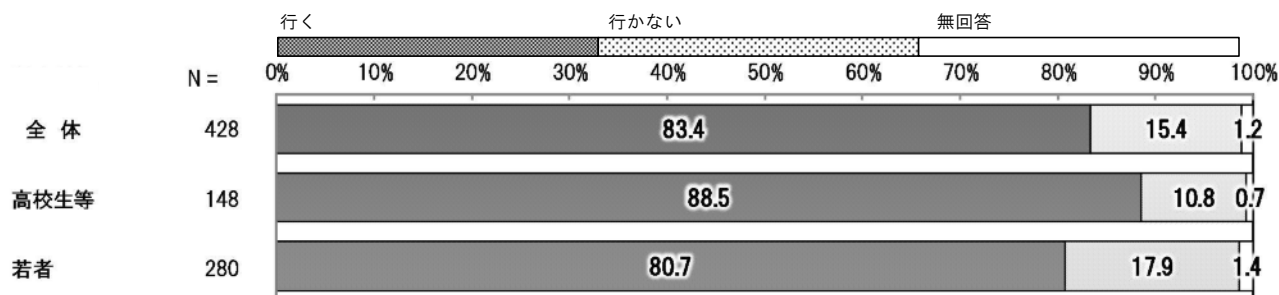
- 若者は「毎回行っていた」が最も多く 47.1%、次いで「ときどき行っていた」が 36.4%でした。



若 15)

■4-3-2) 今後、国政選挙や地方選挙に行きますか。 SA

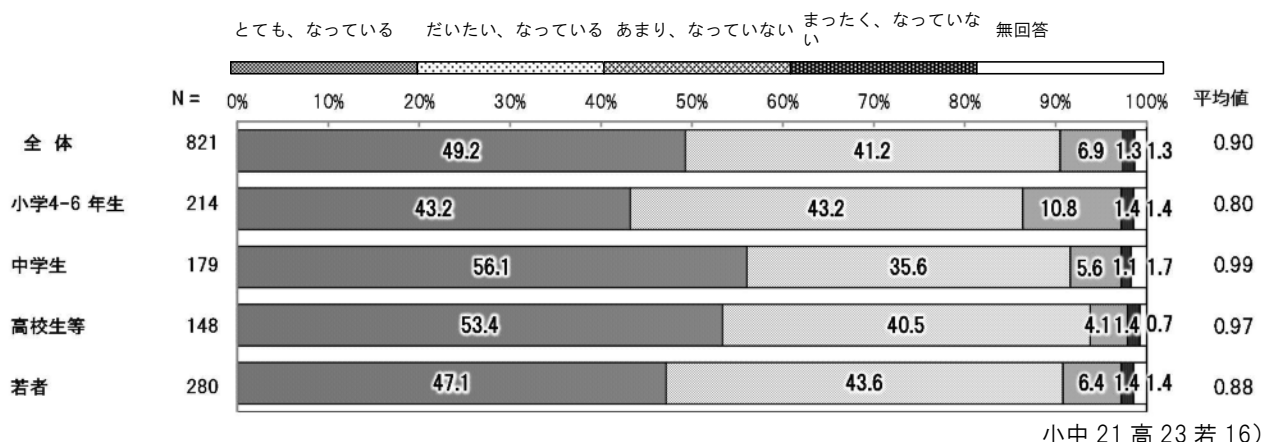
- 高校生等、若者は「行く」が最も多く、それぞれ 88.5%で 80.7%でした。



高 21 若 15)

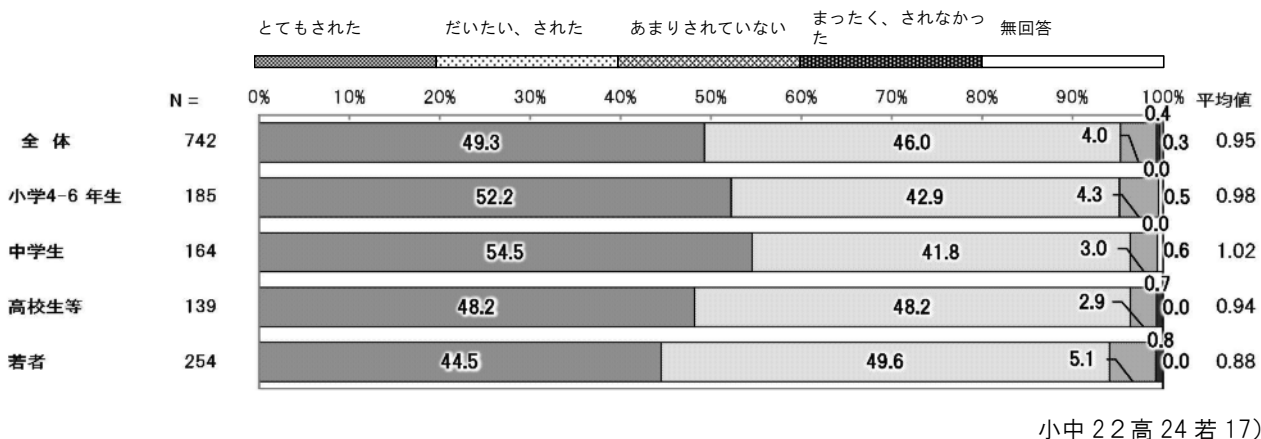
■4-3-3) 家で何かを決めるとき、あなたは意見を言えるようになっていきますか。 SA

- すべての対象で、「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計が「あまり、なっていない」「まったく、なっていない」の合計より多く、最も低い小学4-6年生で86.4%、最も高い高校生等で93.9%でした。



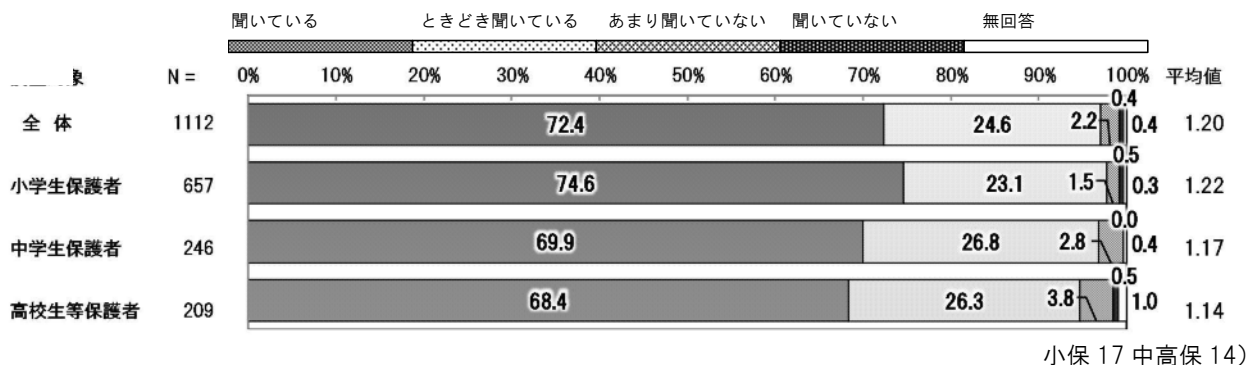
■4-3-4) 家であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い若者で94.1%、最も高い高校生等で96.4%でした。



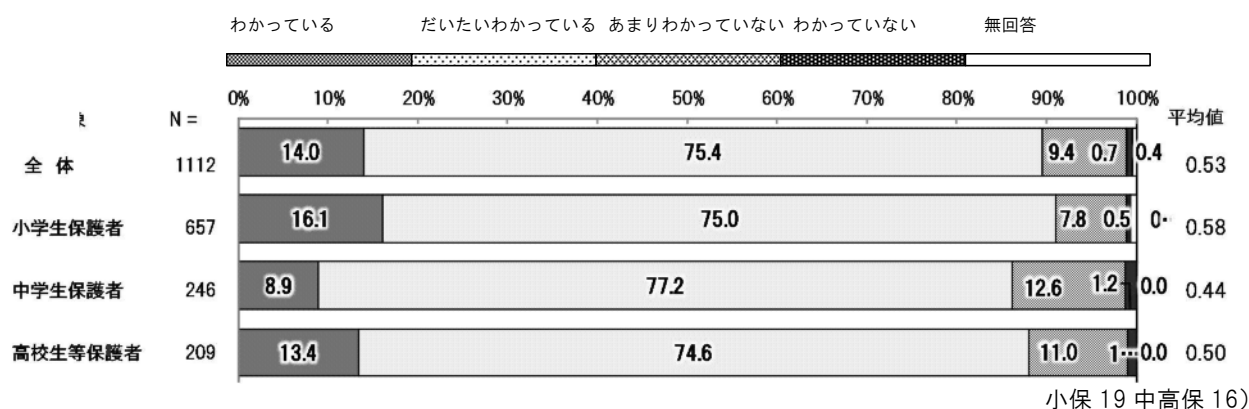
■4-3-5) あなたは、ふだん家で子どもの話をよく聞いていますか。 SA

- すべての対象で、「聞いている」「ときどき聞いている」の合計が「あまり聞いていない」「聞いていない」の合計より多く、最も低い高校生等保護者で94.7%、最も高い小学生保護者等で97.7%でした。



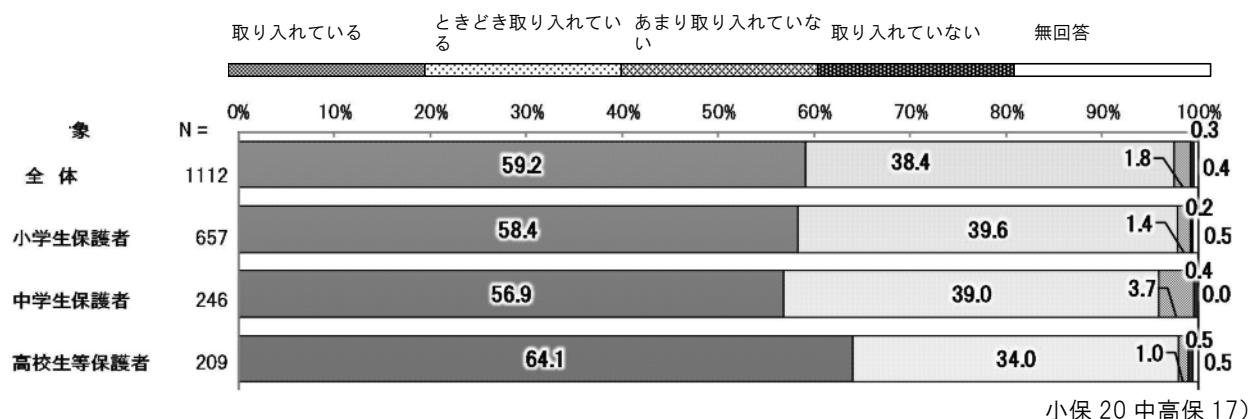
■4-3-6) あなたは、子どものことをわかっていると思いますか。 SA

- すべての対象で、「わかっている」「だいたいわかっている」の合計が「あまりわかっていない」「わかっていない」の合計より多く、最も低い中学生保護者で 86.1%、最も高い小学生保護者で 96.4%でした。



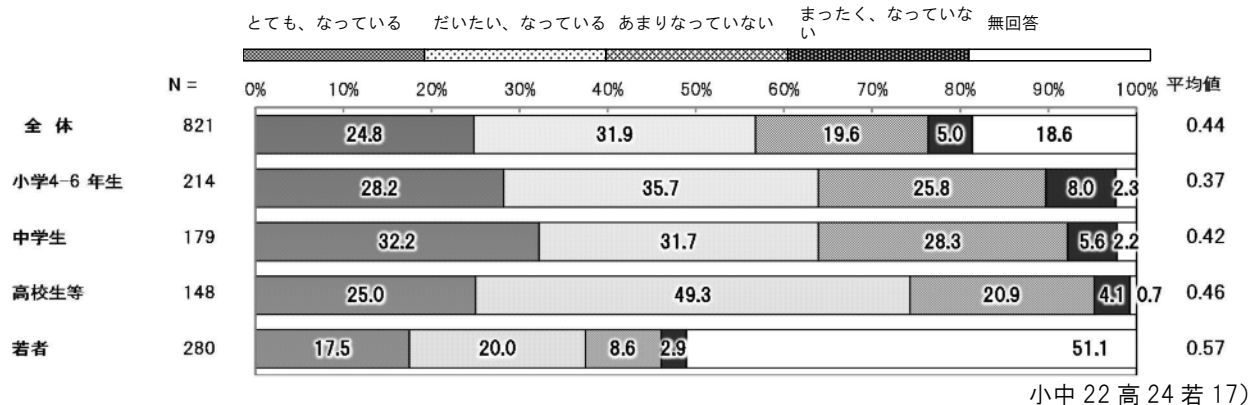
■4-3-7) あなたは、家で何かを決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れていますか。 SA

- すべての対象で、「取り入れている」「ときどき取り入れている」の合計が「あまり取り入れていない」「取り入れていない」の合計より多く、最も低い中学生保護者で 95.9%、最も高い高校生等保護者で 98.1%でした。



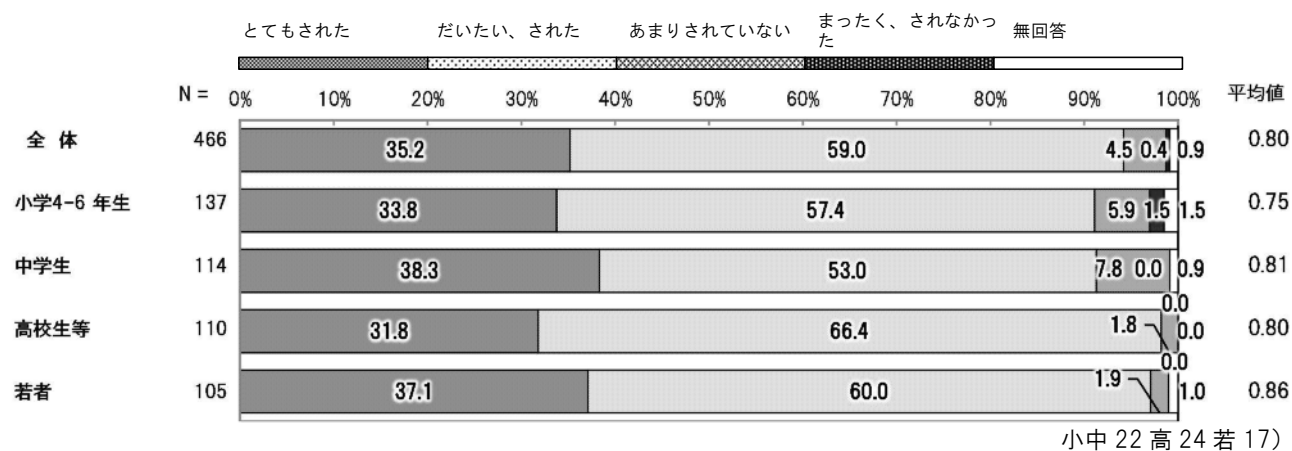
■4-3-8) 学校で何かを決めるとき、あなたは意見を言えるようになっていきますか。 SA

- すべての対象で、「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計が「あまりなっていない」「まったく、なっていない」の合計より多く、全体で 56.7%でした。



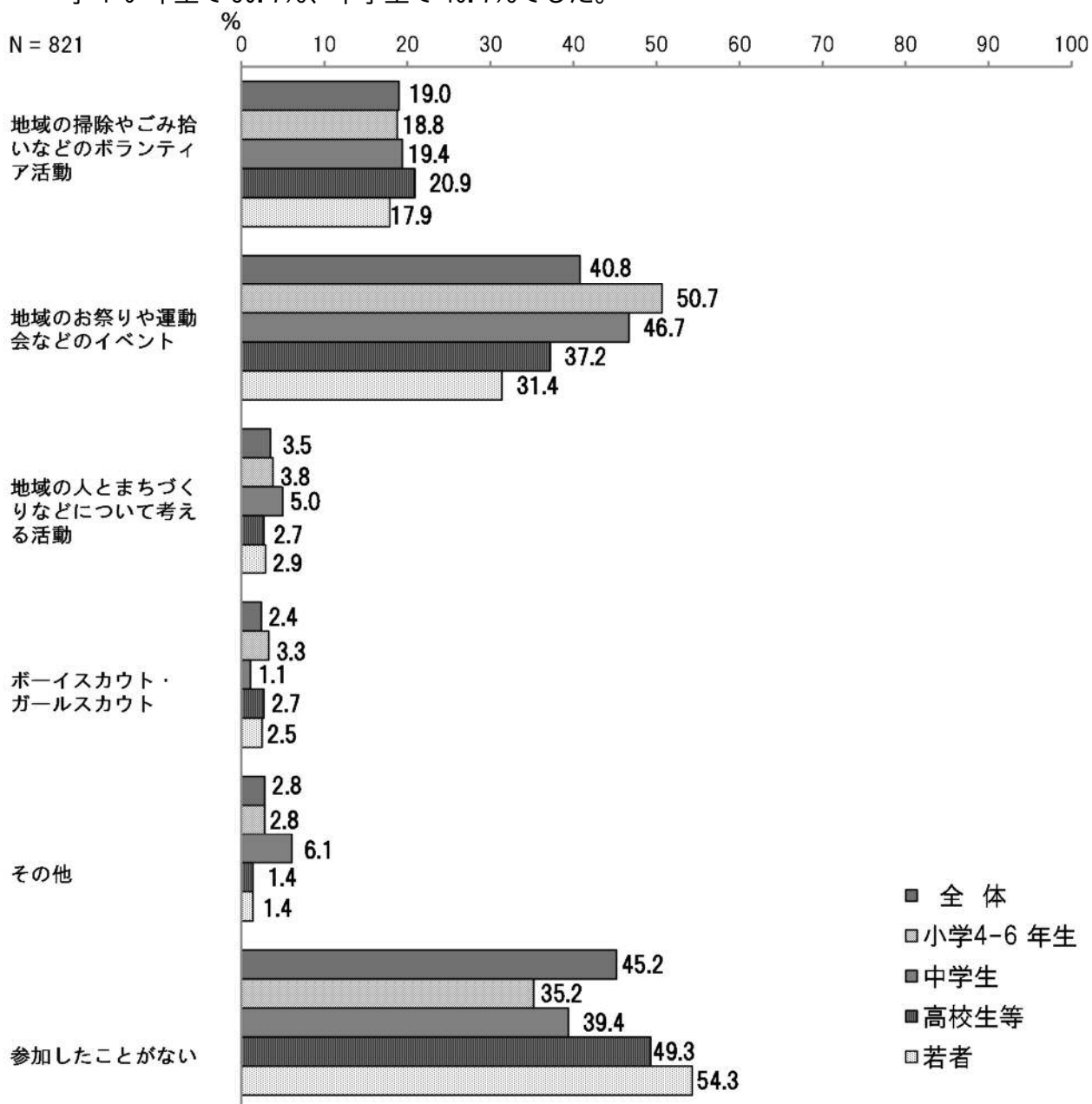
■4-3-9) 学校であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- ・すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い小学4-6年生で91.2%、最も高い高校生等で98.2%でした。



■ 4-3-1 0) あなたは、地域の活動・イベント・ボランティア等に参加したことがありますか。

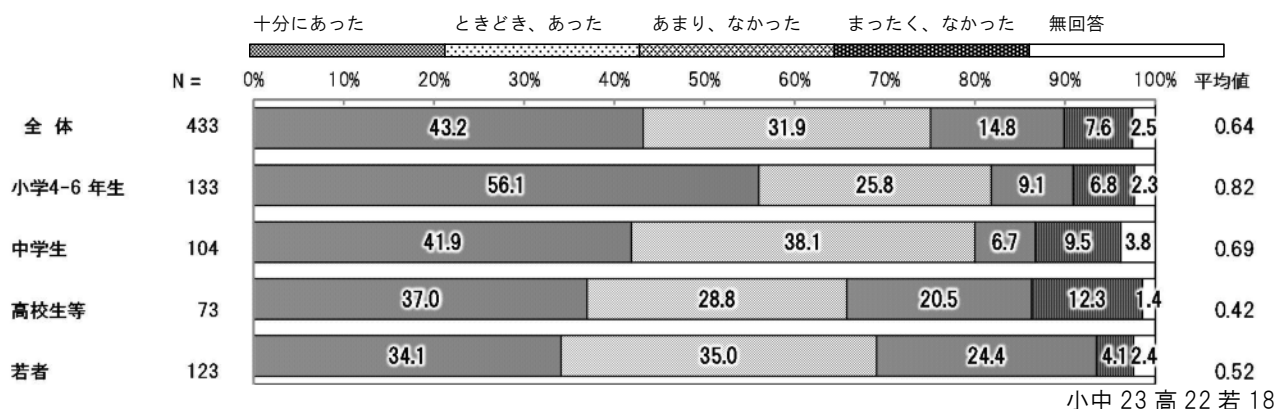
高校生等、若者は「参加したことがない」が最も多く、高校生等で 49.3%でした。若者で 54.3%、小学 4-6 年生、中学生は「地域のお祭りや運動会などのイベント」が最も多く、小学 4-6 年生で 50.7%、中学生で 46.7%でした。



小中 23 高 22 若 18)

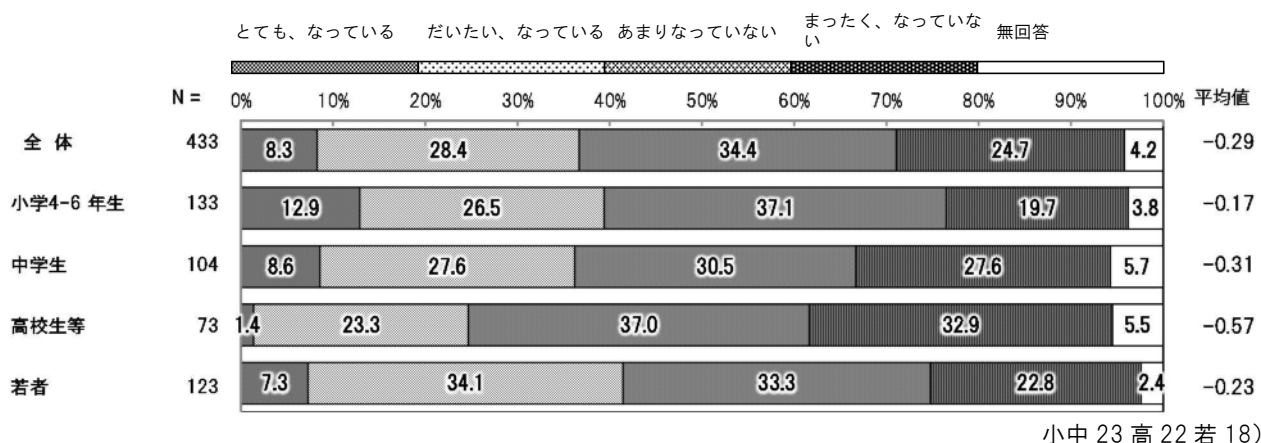
■4-3-1 1) 地域で何かをしたり、決めたりするとき、大人から事前の説明がありましたか。
SA

- すべての対象で、とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い高校生等で 65.8%、最も高い小学 4-6 年生で 81.9%でした。



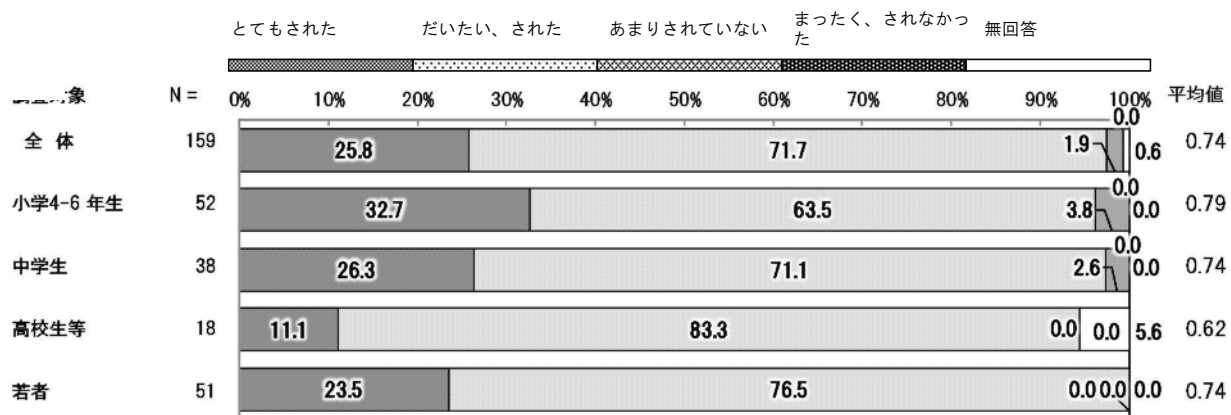
■4-3-1 2) 地域で何かをしたり、決めたりするとき、あなたは意見を言えるようになっていきますか。 SA

- すべての対象で、「あまりなっていない」「まったく、なっていない」の合計が「とても、なっている」「だいたい、なっている」の合計より多く、最も低い若者で 56.1%、最も高い高校生等で 69.9%でした。



■4-3-1 3) 地域であなたの意見や思いは大切にされましたか。 SA

- ・すべての対象で、「とてもされた」「だいたい、された」の合計が「あまりされていない」「まったく、されなかった」の合計より多く、最も低い高校生等で94.1%、最も高い若者で100.0%でした。



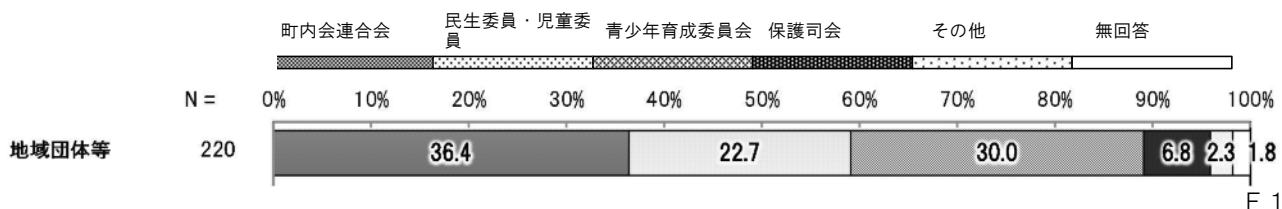
小中 23 高 22 若 18)

5 支援者から把握する状況

5-1 回答者属性

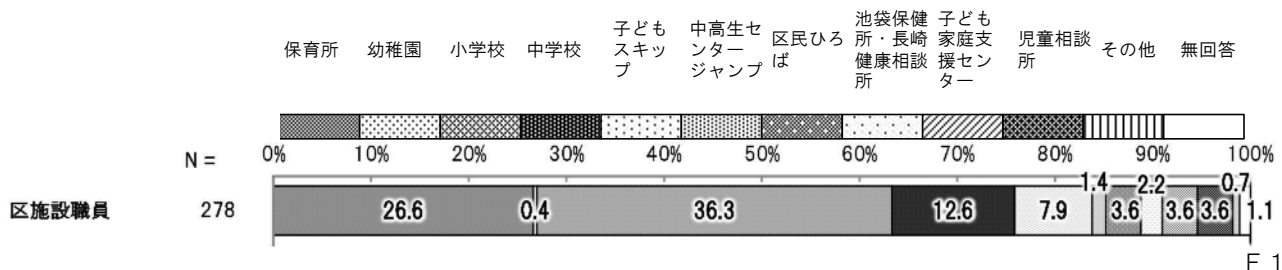
■ 5-1-1) はじめにあなたご本人のことについてお聞きします。 SA

- ・ 地域団体等は「町内会連合会」が最も多く 36.4%、次いで「民生委員・児童委員」が 22.7%でした。



■ 5-1-2) はじめにあなたご本人のことについてお聞きします。

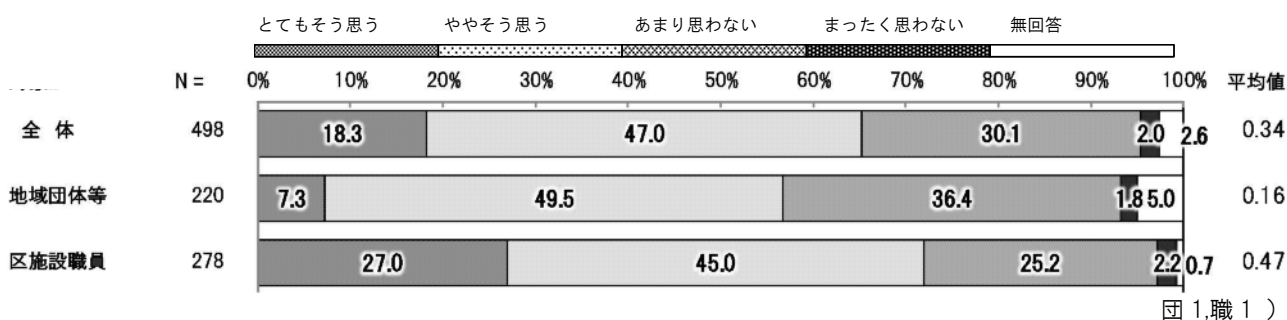
- ・ 区施設職員は「小学校」が最も多く 36.3%、次いで「保育所」が 26.6%でした。



5-2 支援者や子どもの状況

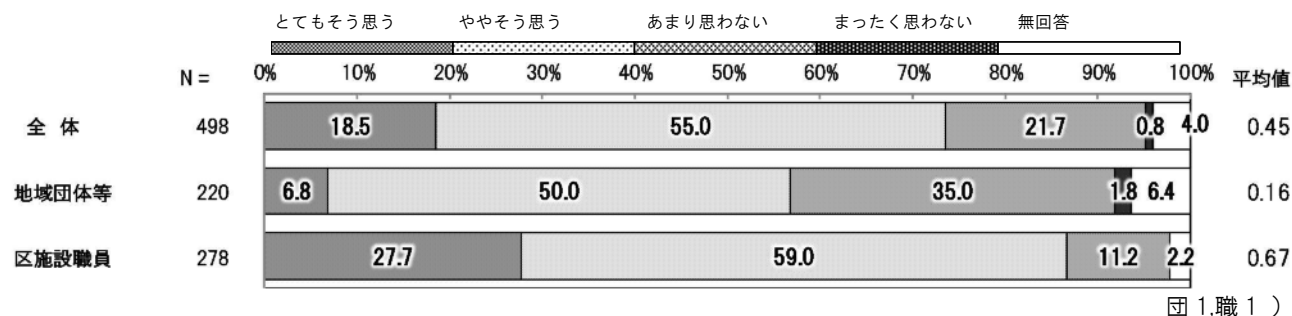
■ 5-2-1) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて ア 遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にある SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等 56.8%、区施設職員 72%でした。



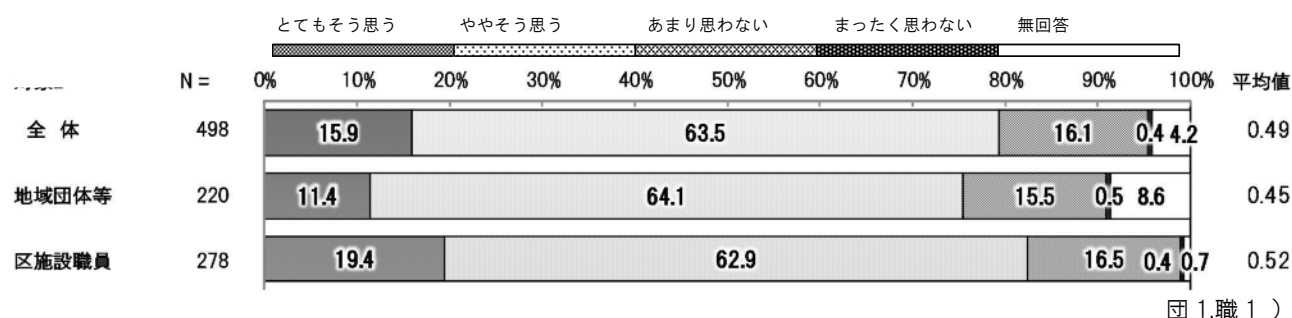
■ 5-2-2) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて イ 安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいる SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等 56.8%、区施設職員 86.7%でした。



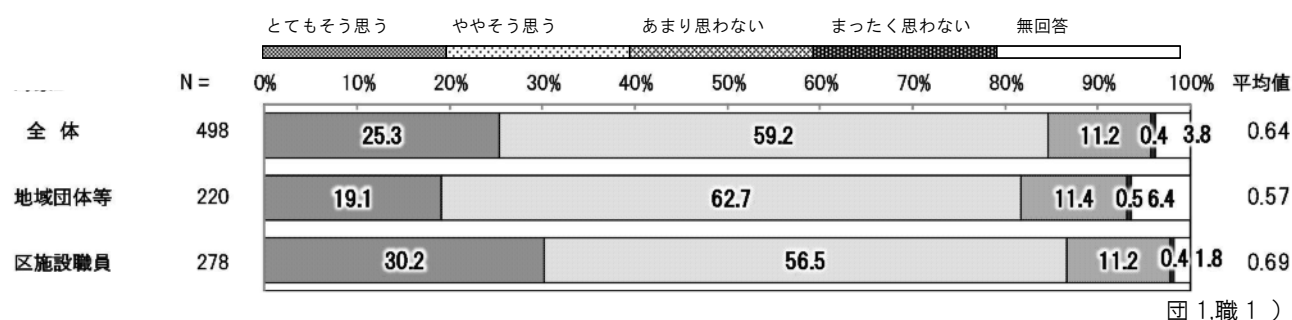
■ 5-2-3) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて ウ 自分のことを好きだと思っている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等 75.5%、区施設職員 82.3%でした。



■ 5-2-4) あなたの地域や団体、職場で接する子どもについて エ 地域に、一緒に遊んだり、話したりする友達がいる SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等 81.8%、区施設職員 86.7%でした。



■ 5-2-5) あなたの子どもへの対応方法について ア 子どもの気持ちや意見を聞くこと（受け止めること）ができている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等 84.1%、区施設職員 94.3%でした。

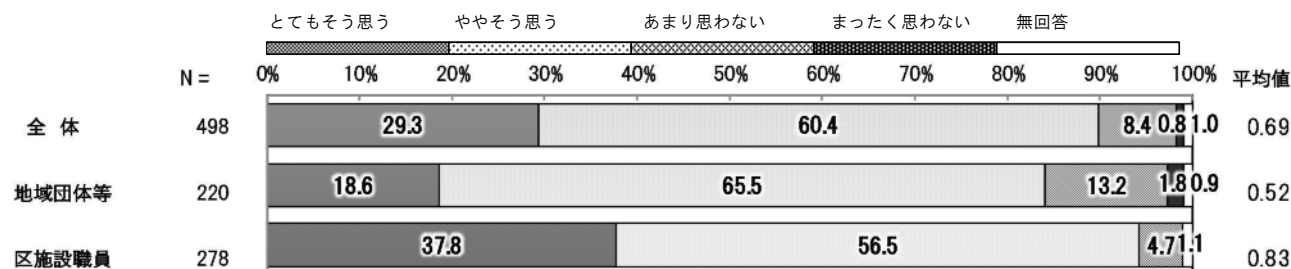


図 2.職 2)

■ 5-2-6) あなたの子どもへの対応方法について イ 地域や、団体で子どもに関わること（運営方針、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等 80.5%、区施設職員 91.7%でした。

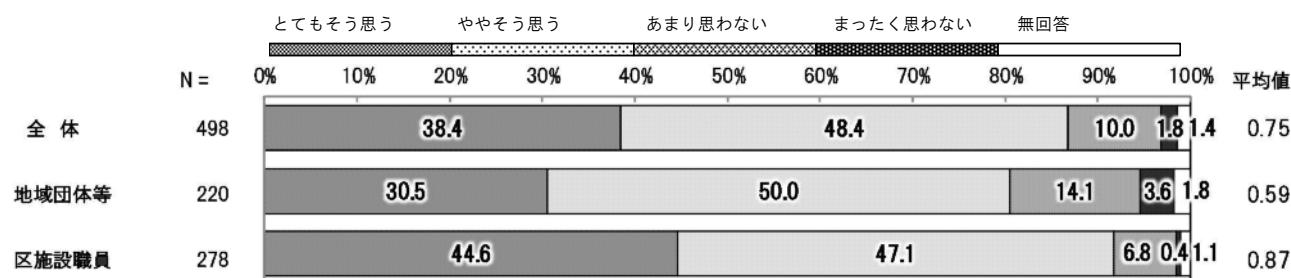


図 2.職 2)

■ 5-2-7) あなたの子どもへの対応方法について ウ 地域や団体で接する子どもたちには可能な限り自由な時間や自主性を持たせている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等 80.9%、区施設職員 91%でした。

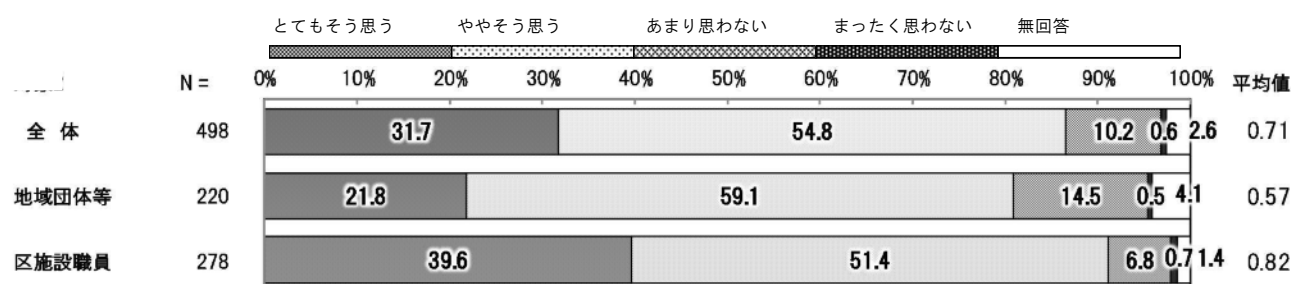
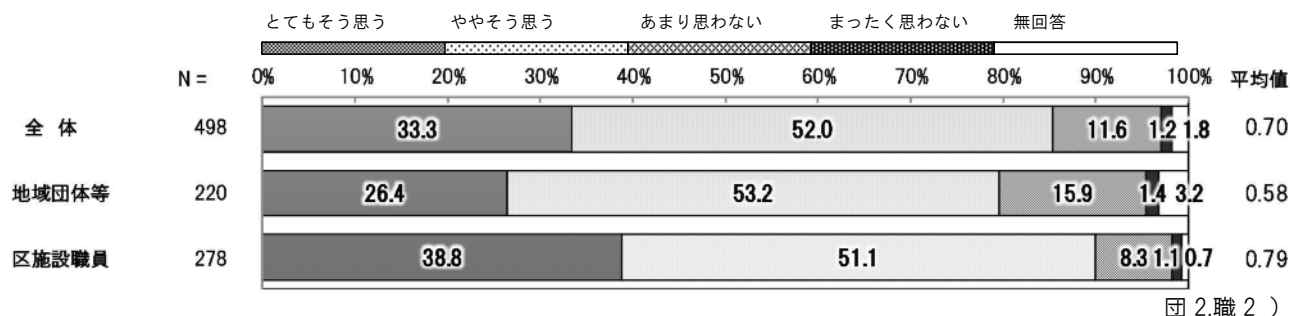


図 2.職 2)

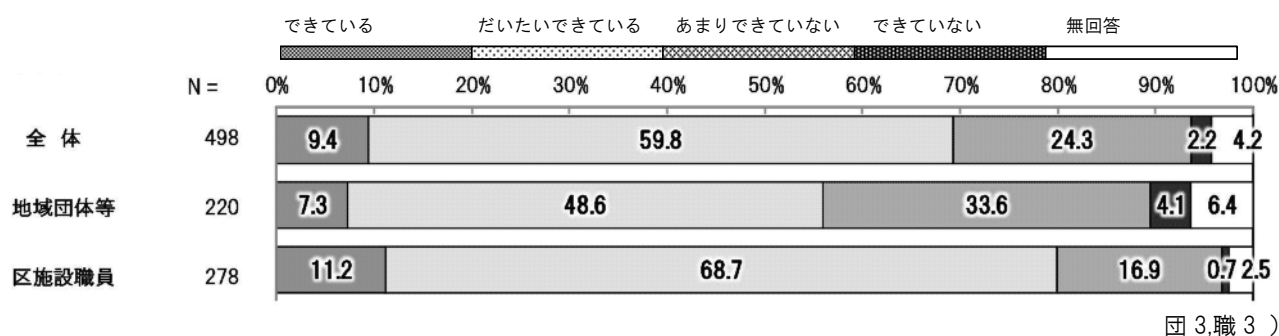
■ 5-2-8) あなたの子どもへの対応方法について エ 団体で子どもに関わること（運営方針、行事等）を決めるとき、自分の思いや考えを自由に言えるようにしている SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」「まったく思わない」の合計より多く、地域団体等 79.6%、区施設職員 89.9%でした。



■ 5-2-9) あなたは、子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現させたりすることができますか。 SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「できている」「だいたいできている」の合計が「あまりできていない」「できていない」の合計より多く、地域団体等 55.9%、区施設職員 79.9%でした。



■ 5-2-10) 子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現させたりすることがあまりできていない、できていない理由 (複数回答)

- ・ 地域団体等は「反映したり実現させたりするための準備時間を十分に取れないから」と「どのように反映したり実現したりすれば良いか分からないから」が最も多く 31.3%でした。
- ・ 区施設職員は「反映したり実現させたりするための準備時間を十分に取れないから」が最も多く 59.2%、次いで「その他」が 36.7%でした。

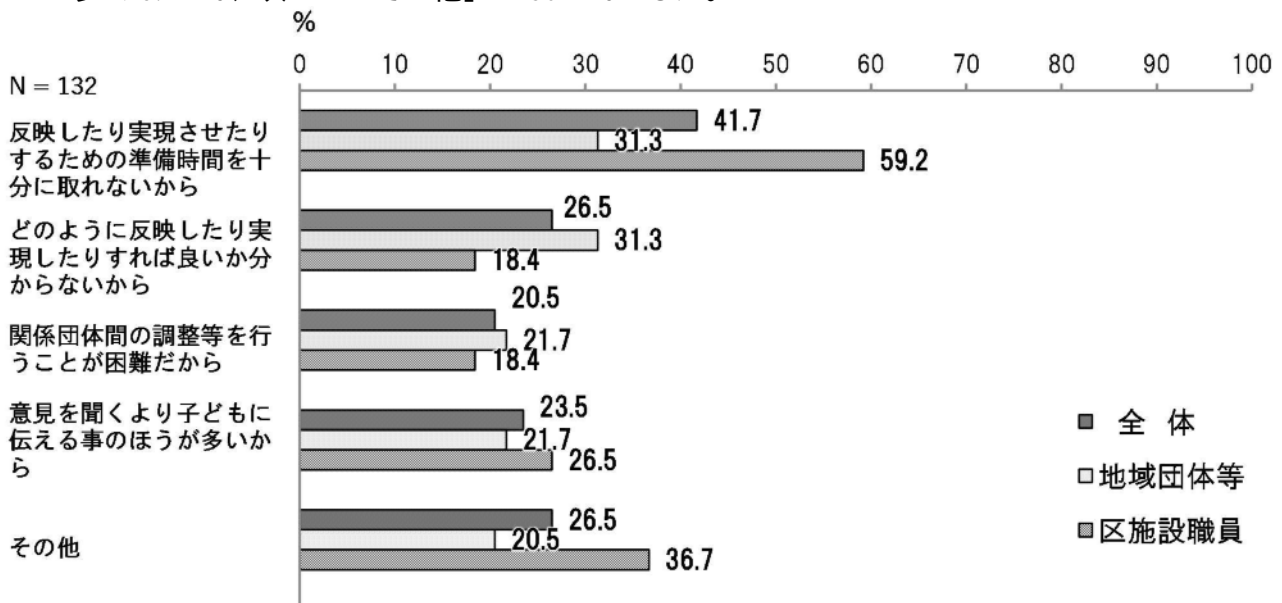


図 3.職 3)

■ 5-2-11) あなたは、最近、職場のお子さんや、あなたの身の回りの子どものいじめ (いじめられる・いじているの両方を含む) に気づいたことがありますか。 SA

- ・ 地域団体等は「ない」が 88.6%でした。
- ・ 区施設職員は「ない」が 71.2%でした。

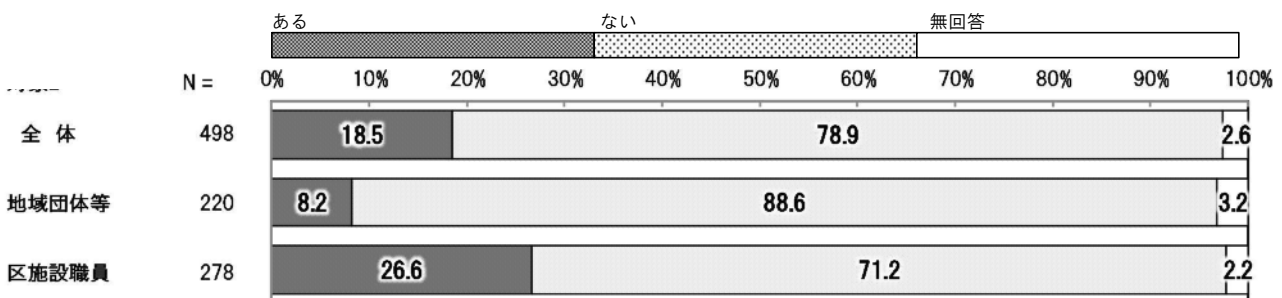
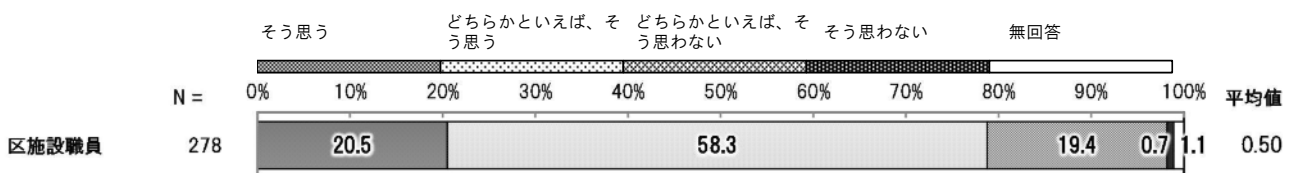


図 4.職 4)

5-2-1) あなたの思いや身体の調子についてお聞きします。: ア 自分のことが好き SA

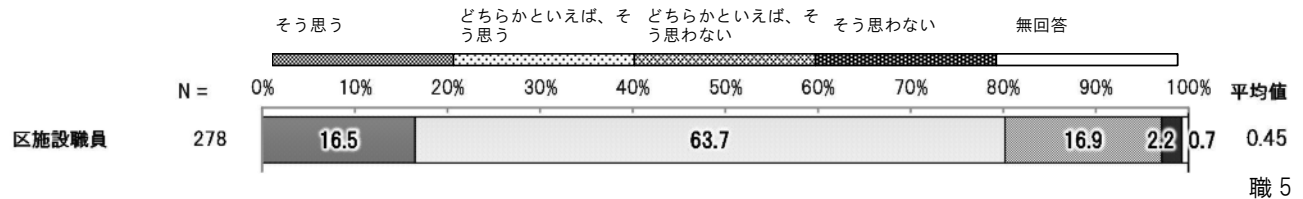
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、78.8%でした。



職 5

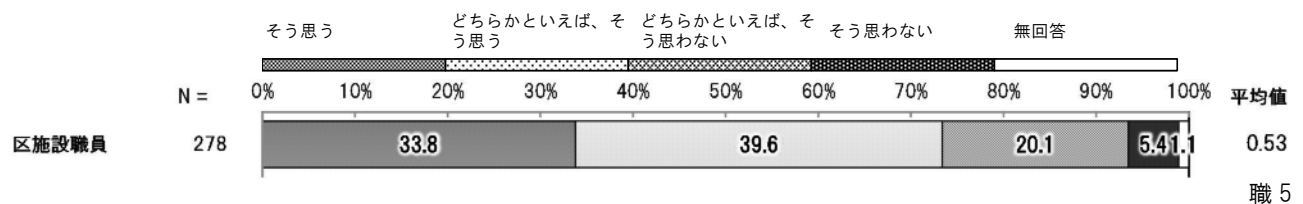
■ 5-2-1 2) あなたの思いや身体の調子についてお聞きます。：イ 周りの人から必要とされている SA

- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、80.2%でした。



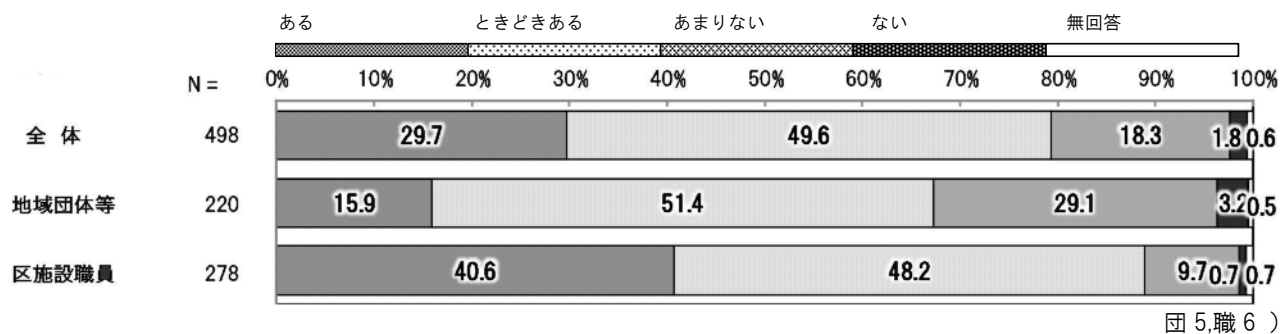
■ 5-2-1 3) あなたの思いや身体の調子についてお聞きます。：ウ いつも疲れている感じがする SA

- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、73.4%でした。



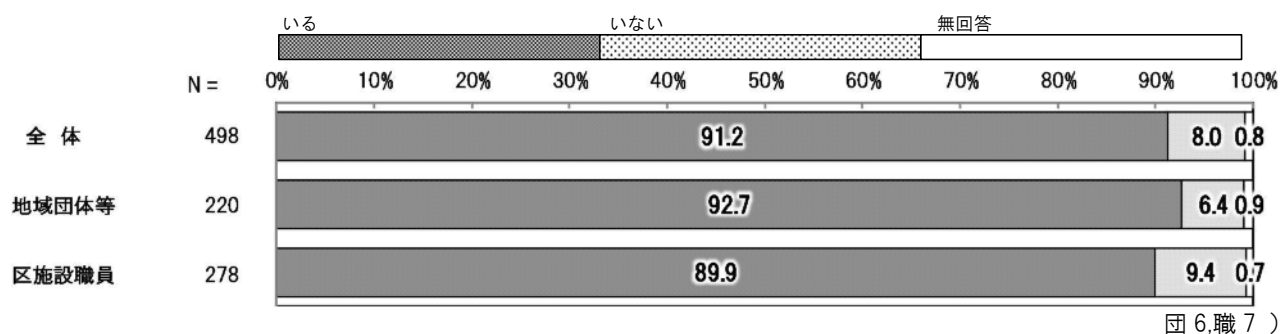
■ 5-2-1 4) あなたには、団体の活動や仕事上の悩みがありますか。 SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「ある」「ときどきある」の合計が「あまりない」「ない」の合計より多く、地域団体等 67.3%、区施設職員 88.8%でした。



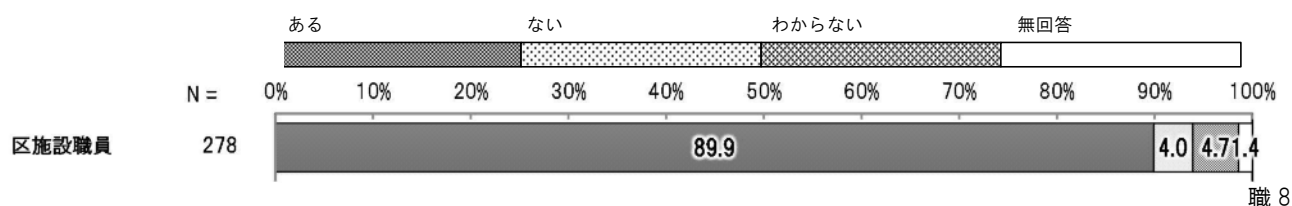
■ 5-2-1 5) あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人がいますか。 SA

- ・ 地域団体等は「いる」が 92.7%、区施設職員は「いる」が 89.9%でした。



■ 5-2-1 6) 自分の知識や専門性を高めるため、研修などへの参加意向はありますか。

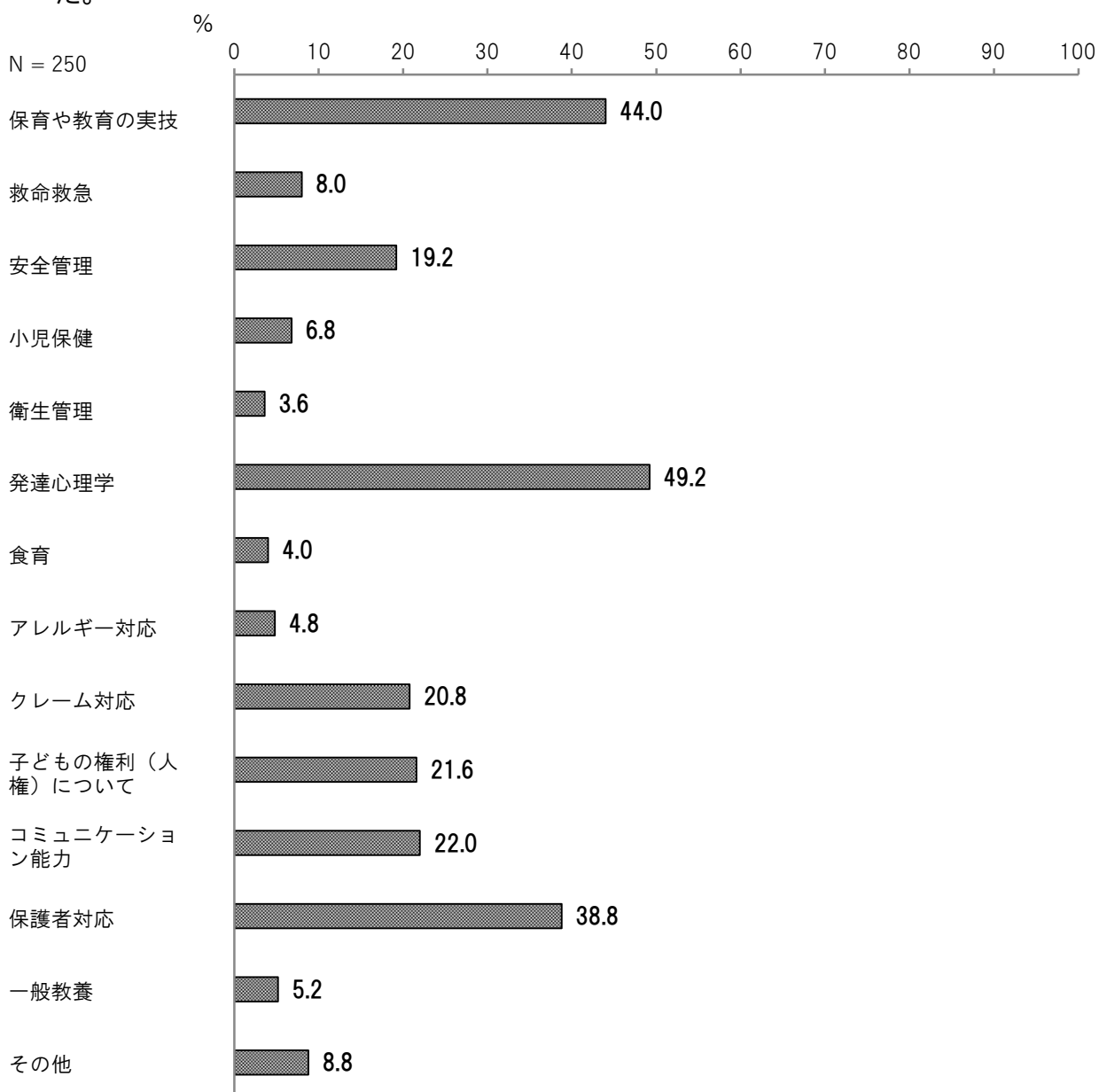
- ・ 区施設職員は「ある」が 89.9%でした。



職 8

■ 5-2-1 7) 研修ではどのような内容を希望しますか。

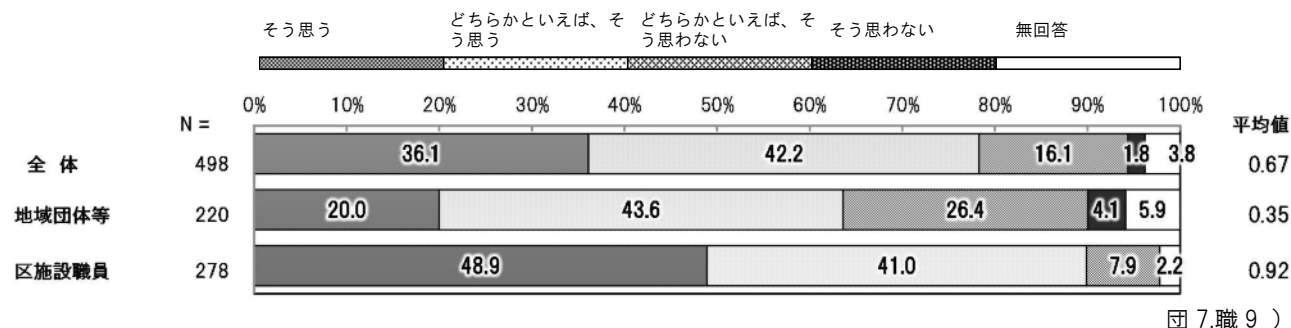
- ・ 区施設職員は「発達心理学」が最も多く 49.2%、次いで「保育や教育の実技」が 44%でした。



職 8-1

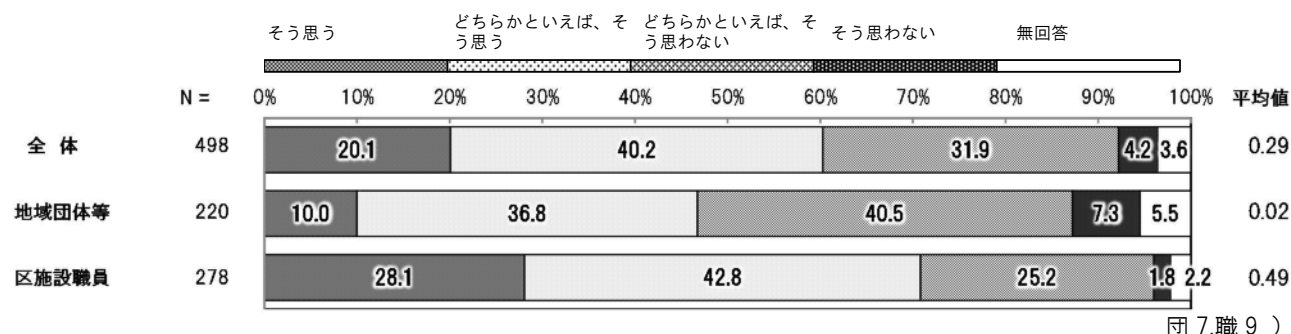
■ 5-2-1 8) 最近の保護者やその子どもの課題：ア 注意が続かなかったり、落ち着きがなかつたりする子どもがいること SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、地域団体等 63.6%、区施設職員 89.9%でした。



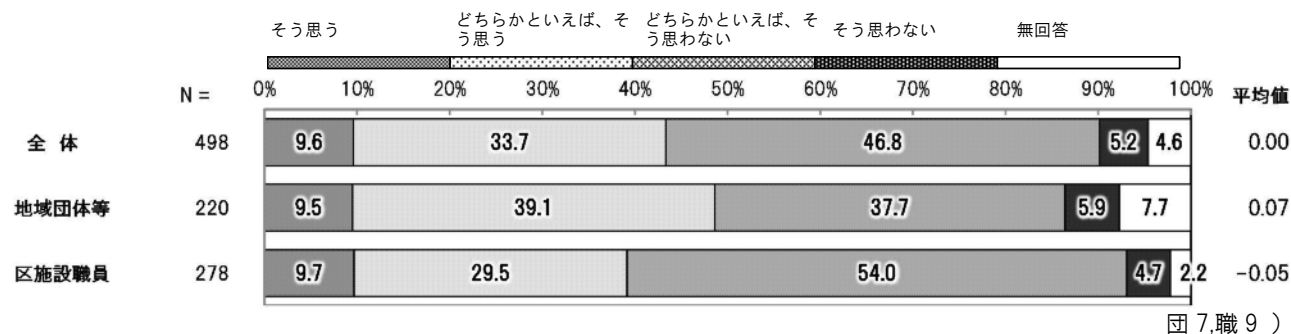
■ 5-2-1 9) 最近の保護者やその子どもの課題：イ 養育困難な保護者が増えていること SA

- ・ 地域団体等は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、47.8%でした。
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、70.9%でした。



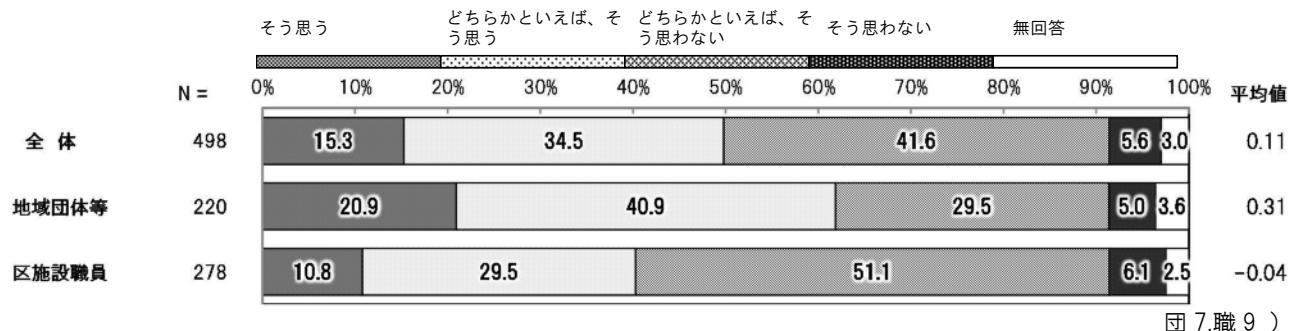
■ 5-2-2 0) 最近の保護者やその子どもの課題：ウ 保護者の間に就労不安定・低所得という問題がみられること SA

- ・ 地域団体等は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、48.6%でした。
- ・ 区施設職員は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、58.7%でした。



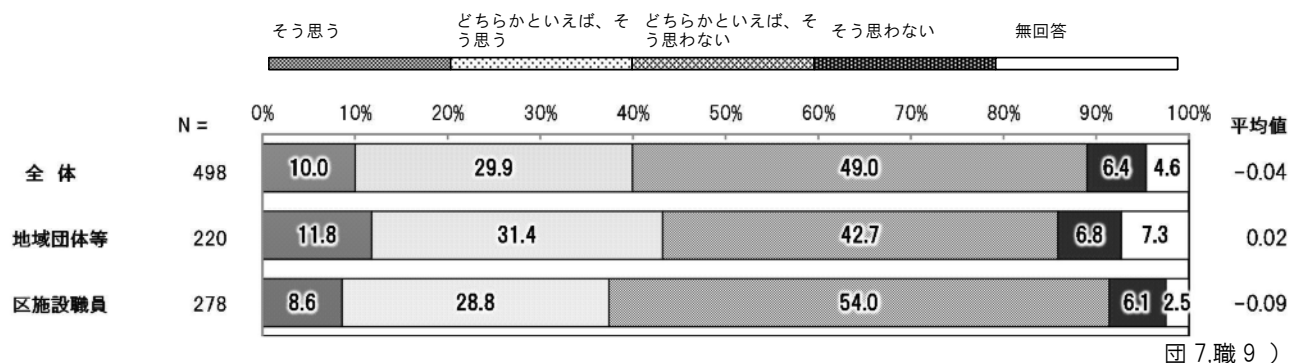
■ 5-2-2 1) 最近の保護者やその子どもの課題：エ ひとり親世帯が増えていることと SA

- ・ 地域団体等は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、61.8%でした。
- ・ 区施設職員は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、57.2%でした。



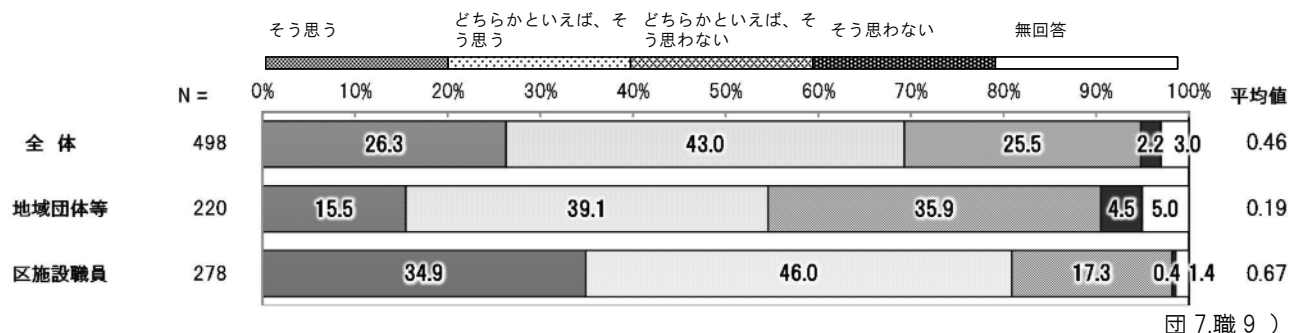
■ 5-2-2 2) 最近の保護者やその子どもの課題：オ 子どもの貧困の問題が生じていること SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、地域団体等 49.5%、区施設職員 60.1%でした。



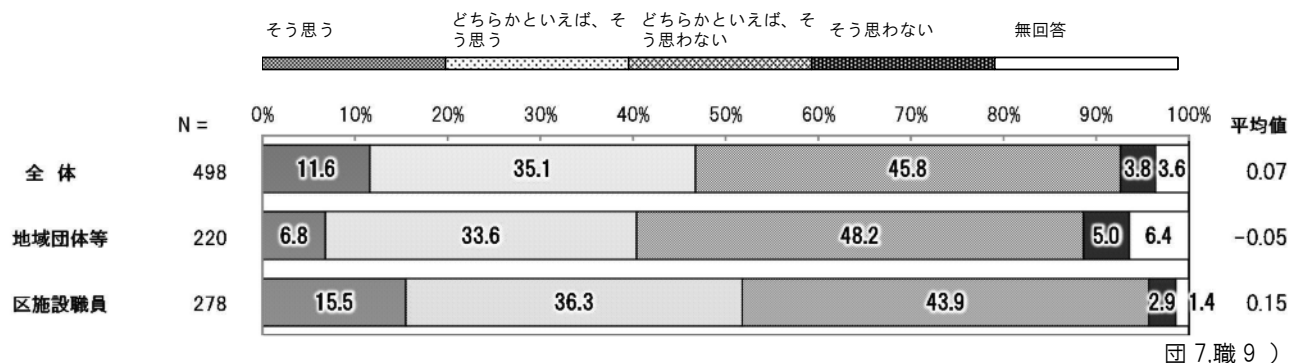
■ 5-2-2 3) 最近の保護者やその子どもの課題：カ 育児不安や育児ストレスに悩む保護者が増えていること SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、地域団体等 54.6%、区施設職員 80.9%でした。



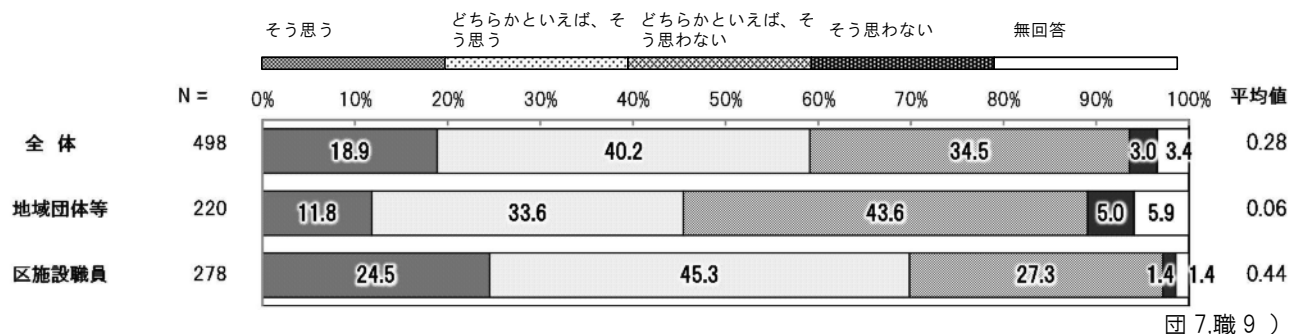
■ 5-2-2 4) 最近の保護者やその子どもの課題：キ 施設が提供するサービスと、保護者が求めるものが異なること SA

- ・ 地域団体等は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、53.2%でした。
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、51.8%でした。



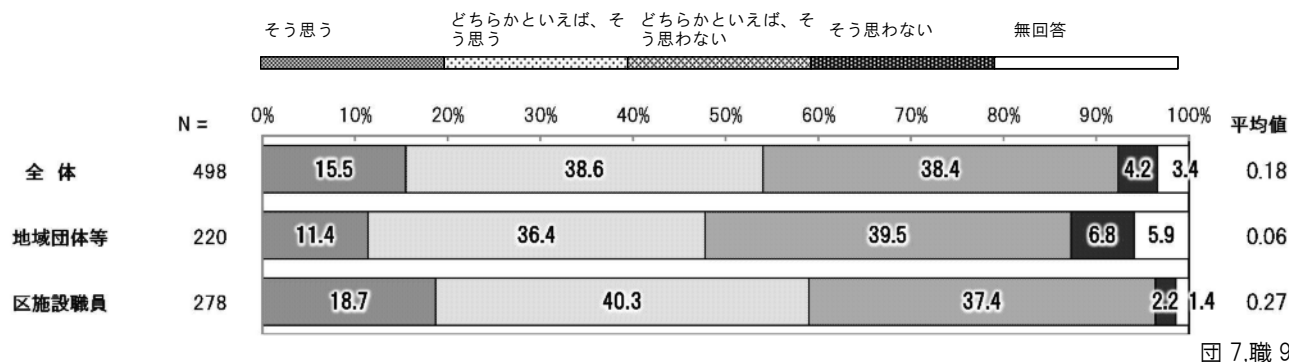
■ 5-2-2 5) 最近の保護者やその子どもの課題：ク 子どもが基本的な生活習慣を身につけていないこと SA

- ・ 地域団体等は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、48.6%でした。
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、69.8%でした。



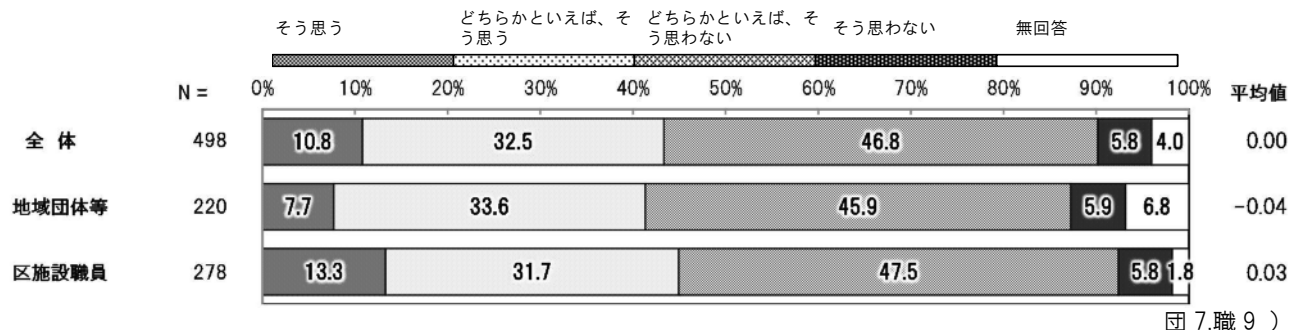
■ 5-2-2 6) 最近の保護者やその子どもの課題：ケ 子どもの問題に対する保護者の協力が十分でないこと SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、地域団体等 47.8%、区施設職員 59%でした。



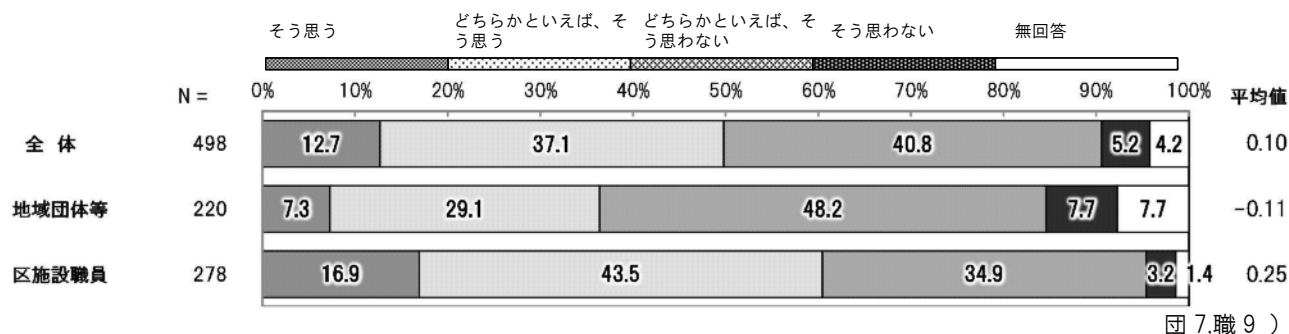
■ 5-2-2 7) 最近の保護者やその子どもの課題：コ 保護者同士の人間関係の問題があること
SA

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、地域団体等 51.8%、区施設職員 53.3%でした。



■ 5-2-2 8) 最近の保護者やその子どもの課題：サ 虐待・ネグレクトの疑いのあるケースが増えていること SA

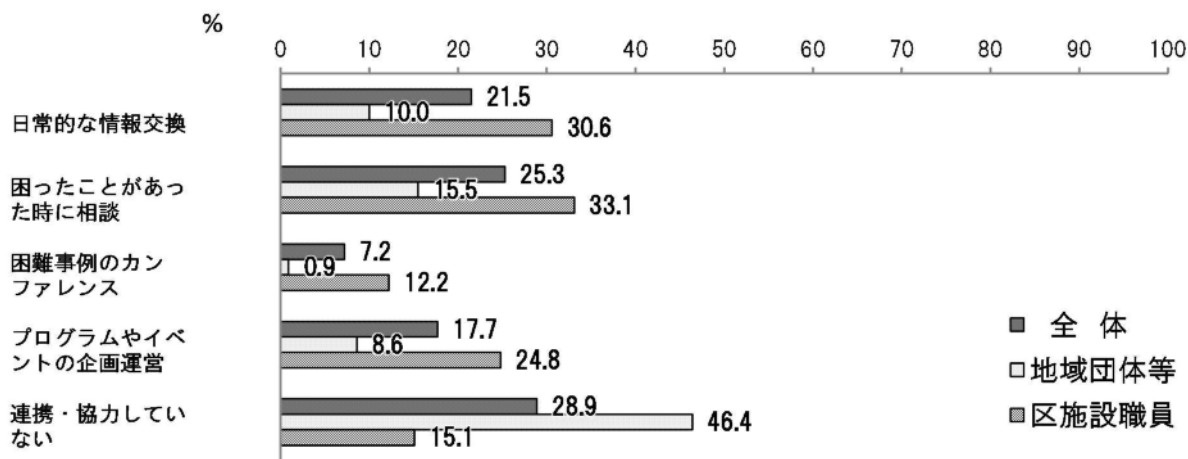
- ・ 地域団体等は「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計より多く、55.9%でした。
- ・ 区施設職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計が「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の合計より多く、60.4%でした。



■ 5-2-29) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ア 保育所 （複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 46.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 15.5%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 33.1%、次いで「日常的な情報交換」が 30.6%でした。

N = 498

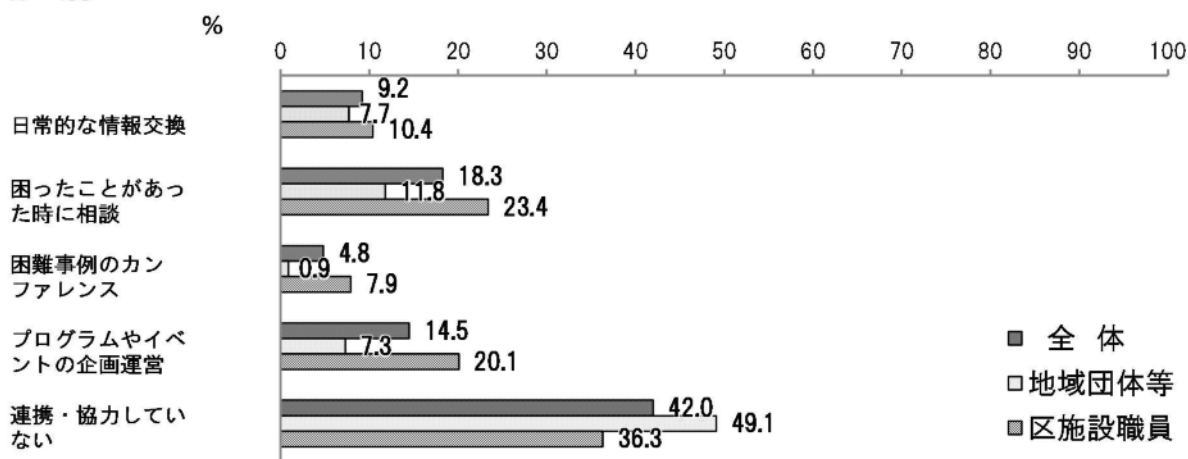


団 8,職 10)

■ 5-2-30) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：イ 幼稚園 （複数回答）

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「連携・協力していない」が最も多く地域団体等 49.1%、区施設職員 36.3%、次いで「困ったことがあった時に相談」が多く、地域団体等 11.8%、区施設職員 23.4%でした。

N = 498

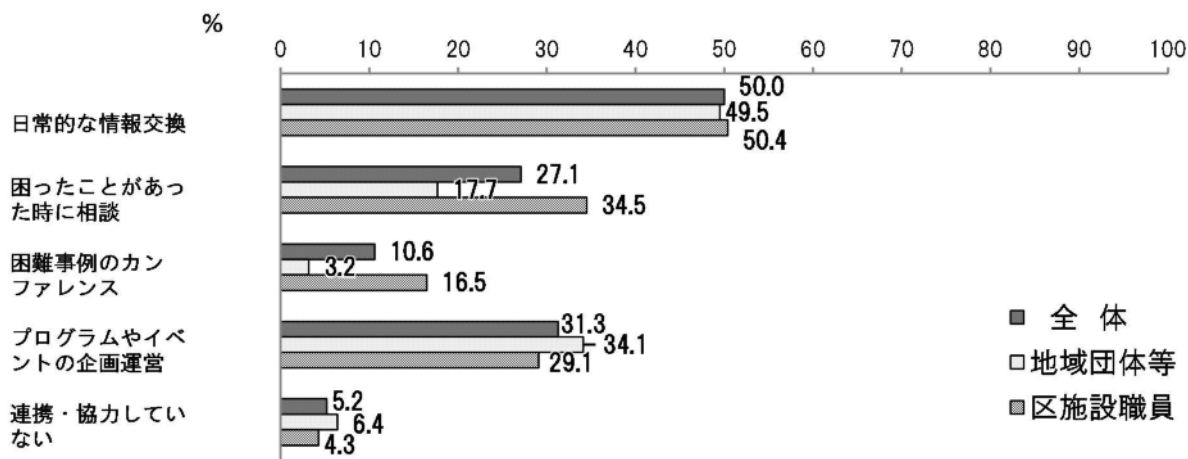


団 8,職 10)

■ 5-2-3 1) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ウ 小学校・中学校 （複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 49.5%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 34.1%でした。
- ・ 区施設職員は「日常的な情報交換」が最も多く 50.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 34.5%でした。

N = 498

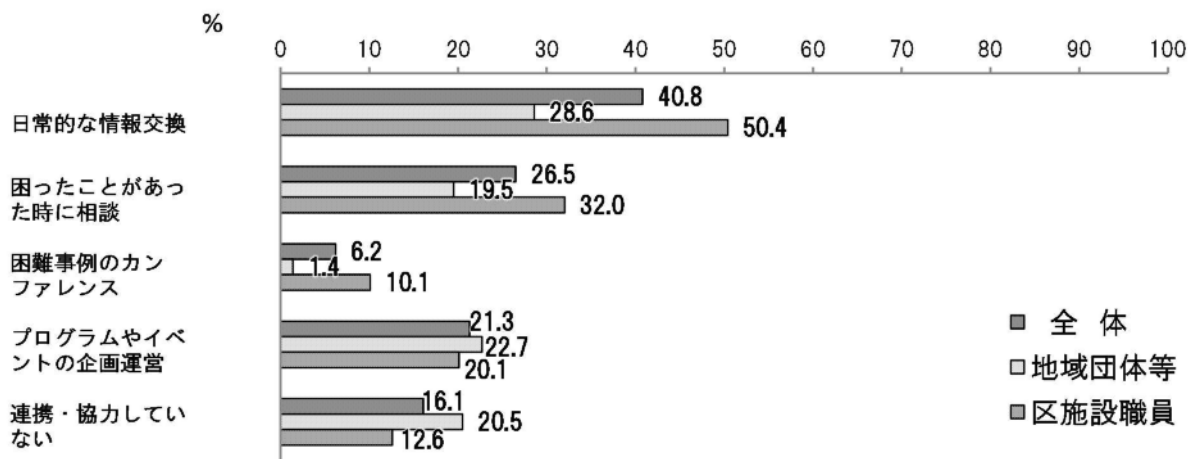


団 8,職 10)

■ 5-2-3 2) あなた団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：エ 子どもスキップ（学童クラブ） （複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 28.6%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 22.7%でした。
- ・ 区施設職員は「日常的な情報交換」が最も多く 50.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 32%でした。

N = 498



団 8,職 10)

■ 5-2-3 3) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：オ 中高生センタージャンプ (複数回答)

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 48.2%、次いで「日常的な情報交換」が 10.9%でした。
- ・ 区施設職員は「連携・協力していない」が最も多く 54.3%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 18%でした。

N = 498

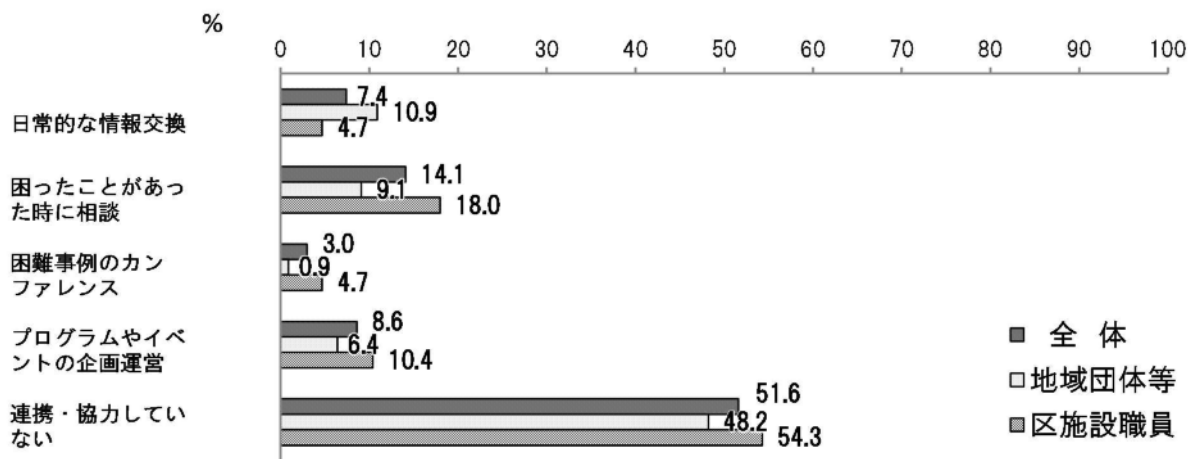


図 8.職 10)

■ 5-2-3 4) あなた団体や職場で Y、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：カ 子ども家庭支援センター (複数回答)

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 39.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 17.7%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 61.9%、次いで「困難事例のカンファレンス」が 32.7%でした。

N = 498

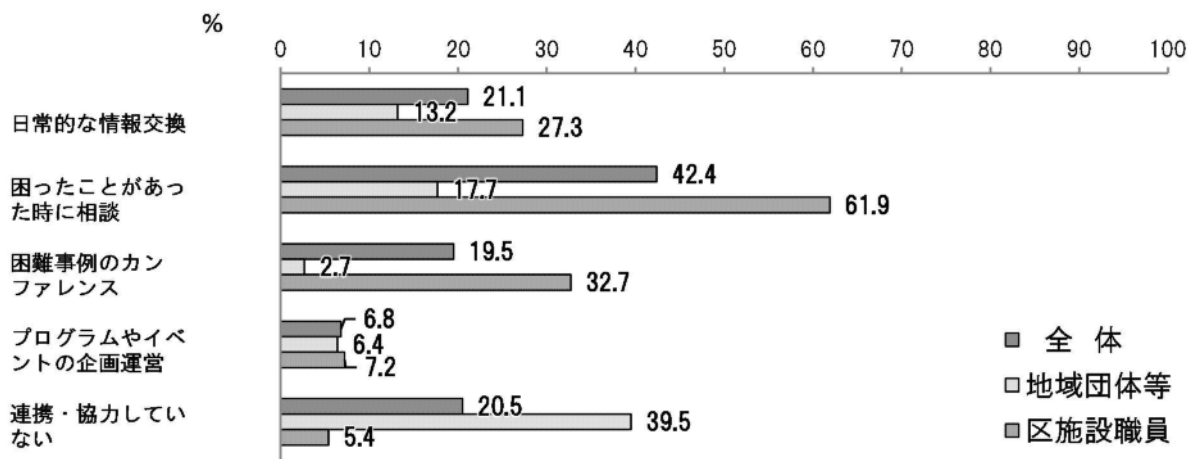
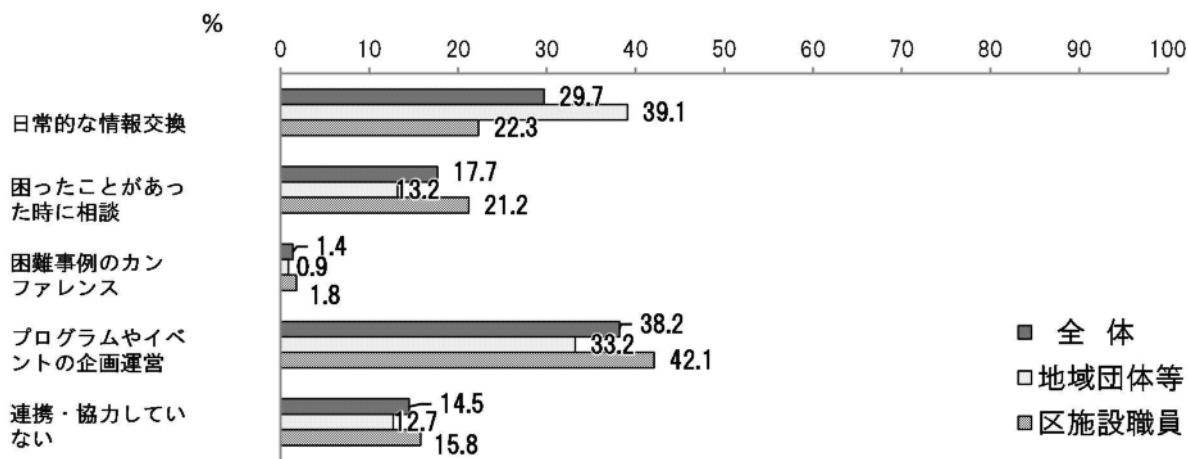


図 8.職 10)

■ 5-2-3 5) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：キ 区民ひろば （複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 39.1%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 33.2%でした。
- ・ 区施設職員は「プログラムやイベントの企画運営」が最も多く 42.1%、次いで「日常的な情報交換」が 22.3%でした。

N = 498

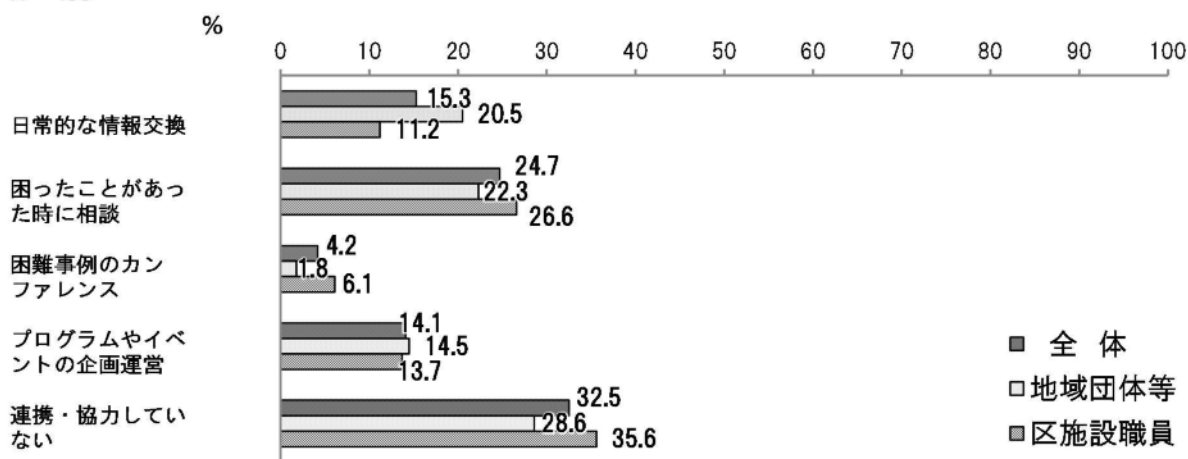


団 8,職 10)

■ 5-2-3 6) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ク 区の子ども若者課 （複数回答）

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「連携・協力していない」が最も多く、地域団体等 28.6%、区施設職員 35.6%、次いで「困ったことがあった時に相談」が多く、地域団体等 22.3%、区施設職員 26.6%でした。

N = 498

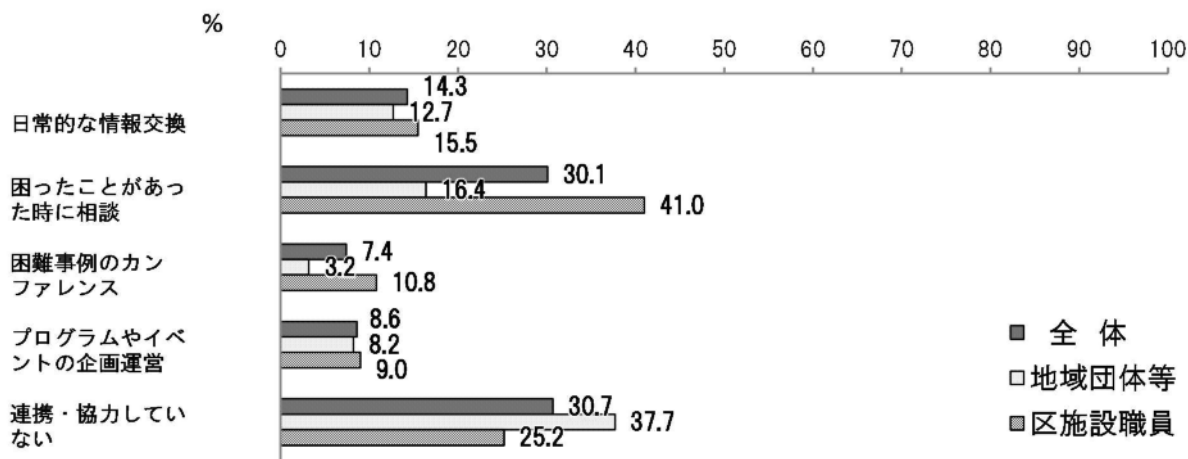


団 8,職 10)

■ 5-2-3 7) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ケ 区の子育て支援課（複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 37.7%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 16.4%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 41%、次いで「連携・協力していない」が 25.2%でした。

N = 498

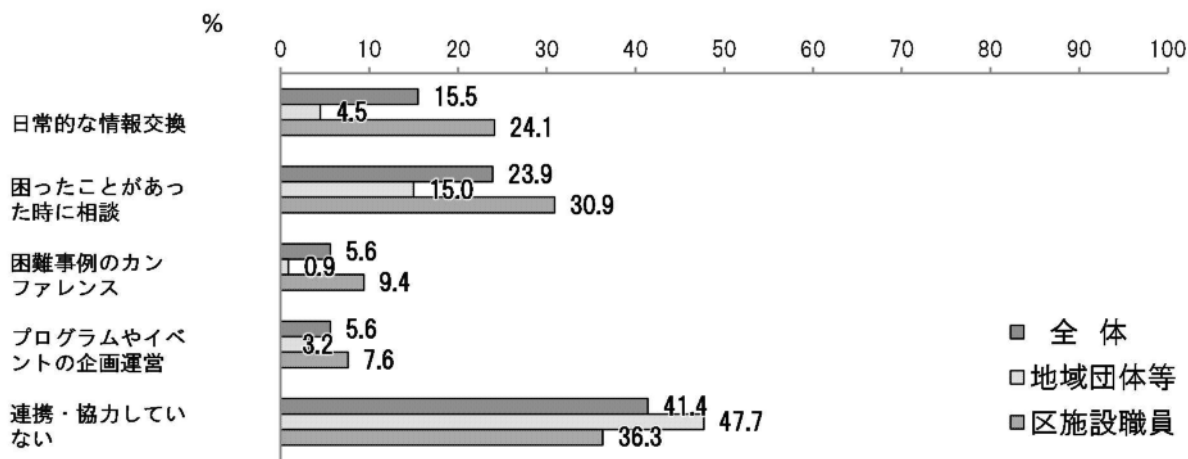


団 8,職 10)

■ 5-2-3 8) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：コ 区の保育課（複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 47.7%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 15%でした。
- ・ 区施設職員は「連携・協力していない」が最も多く 36.3%、次いで「日常的な情報交換」が 24.1%でした。

N = 498

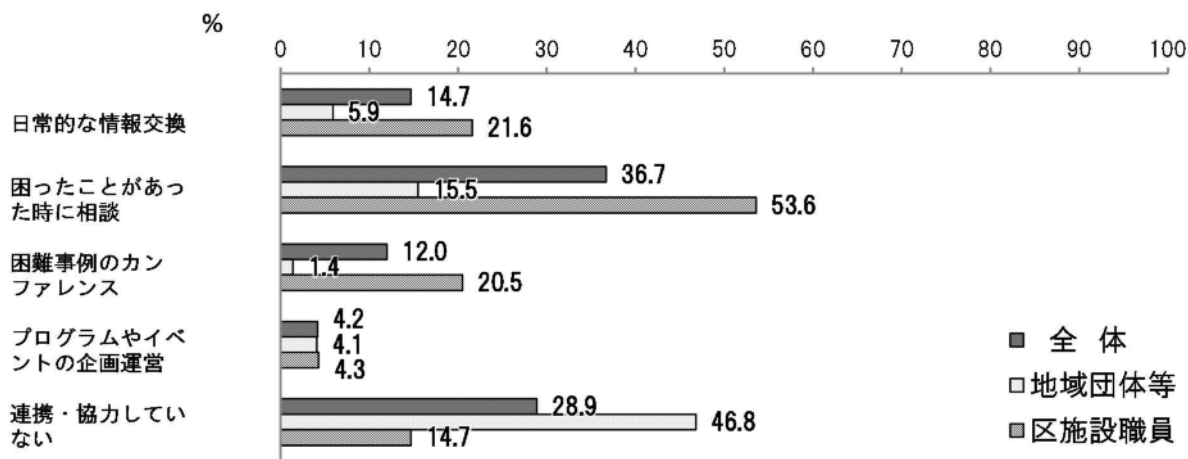


団 8,職 10)

■ 5-2-3 9) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：サ 教育センター（複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 46.8%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 15.5%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 53.6%、次いで「日常的な情報交換」が 21.6%でした。

N = 498

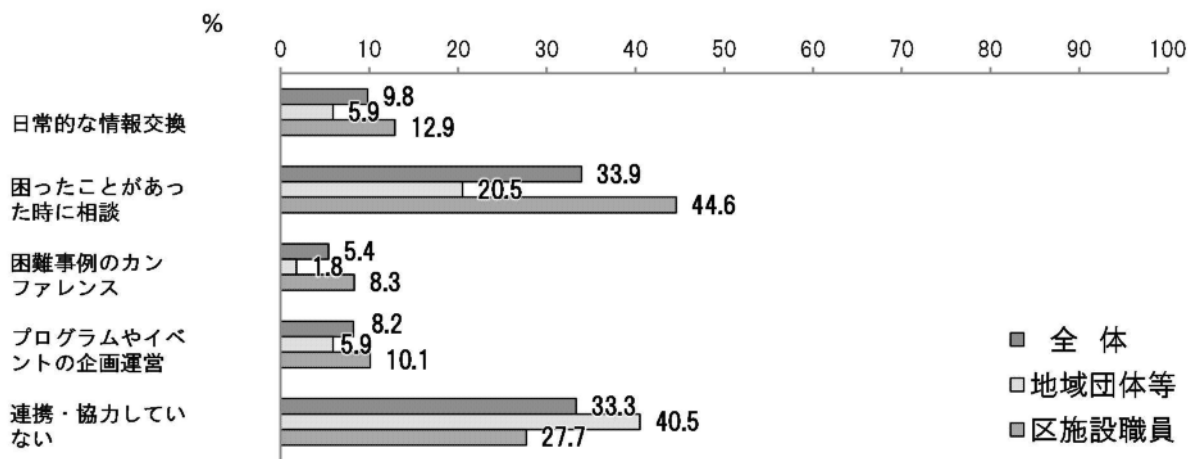


団 8,職 10)

■ 5-2-4 0) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：シ 池袋保健所、長崎健康相談所（複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 40.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 20.5%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 44.6%、次いで「連携・協力していない」が 27.7%でした。

N = 498



団 8,職 10)

■ 5-2-4 1) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ス 町会・自治会 （複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 50.5%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 30.9%でした。
- ・ 区施設職員は「プログラムやイベントの企画運営」が最も多く 38.8%、次いで「日常的な情報交換」が 24.8%でした。

N = 498

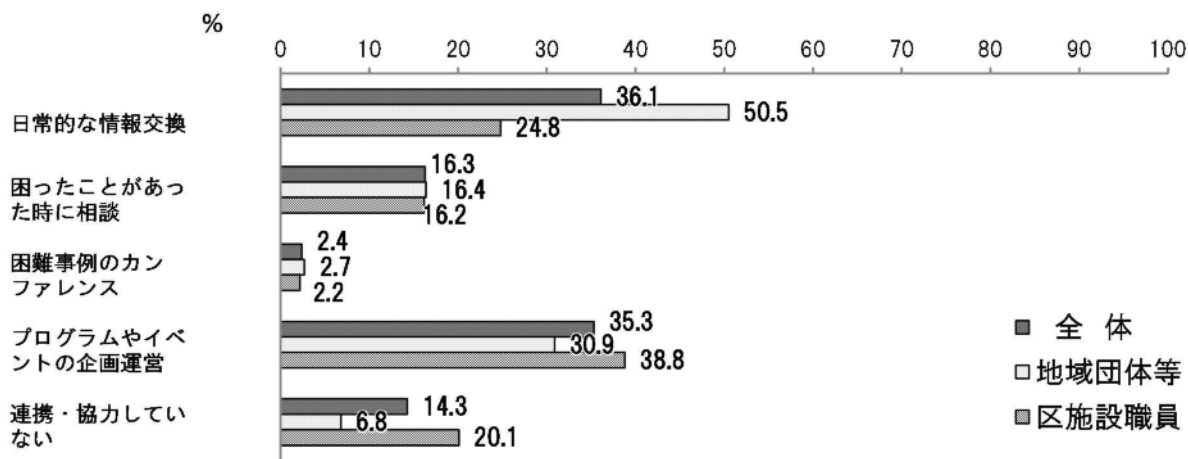


図 8,職 10)

■ 5-2-4 2) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：セ 民生委員・児童委員 （複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 46.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 22.7%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 35.6%、次いで「日常的な情報交換」が 30.2%でした。

N = 498

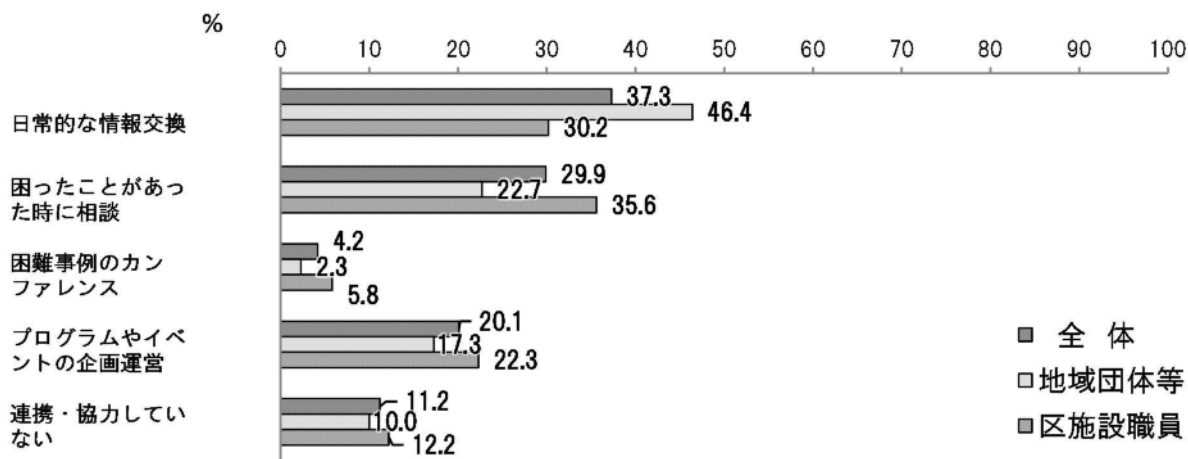
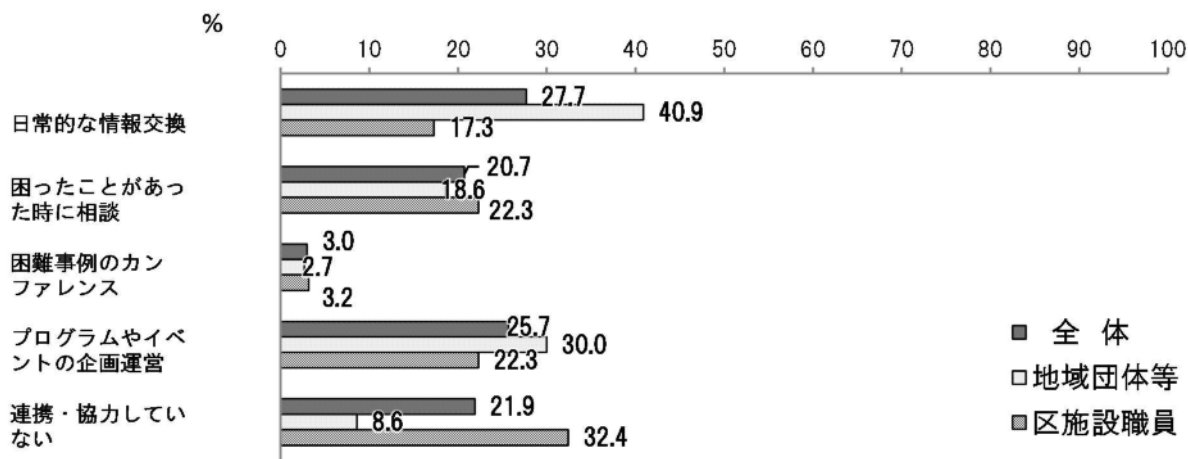


図 8,職 10)

■ 5-2-4 3) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ソ 青少年育成委員会（複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 40.9%、次いで「プログラムやイベントの企画運営」が 30%でした。
- ・ 区施設職員は「連携・協力していない」が最も多く 32.4%、次いで「日常的な情報交換」と「プログラムやイベントの企画運営」が 17.3%でした。

N = 498

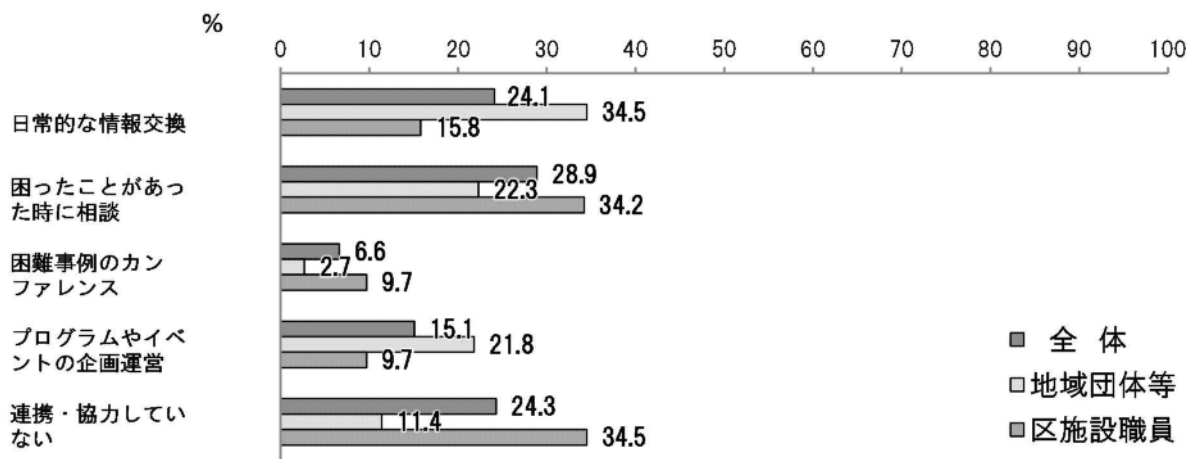


団 8,職 10)

■ 5-2-4 4) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：タ 社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー）（複数回答）

- ・ 地域団体等は「日常的な情報交換」が最も多く 34.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 22.3%でした。
- ・ 区施設職員は「連携・協力していない」が最も多く 34.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 34.2%でした。

N = 498

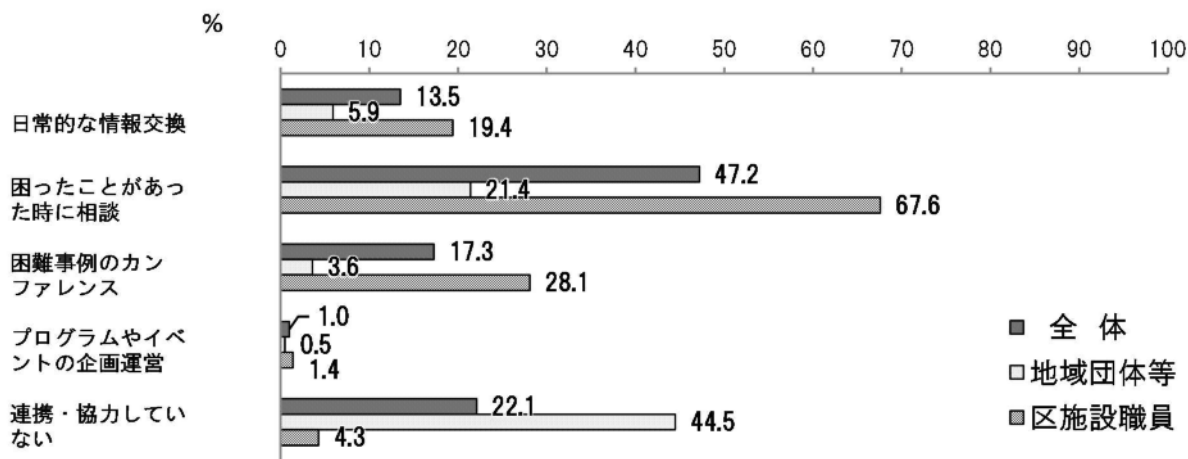


団 8,職 10)

■ 5-2-4 5) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：チ 児童相談所 （複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 44.5%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 21.4%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 67.6%、次いで「困難事例のカンファレンス」が 28.1%でした。

N = 498

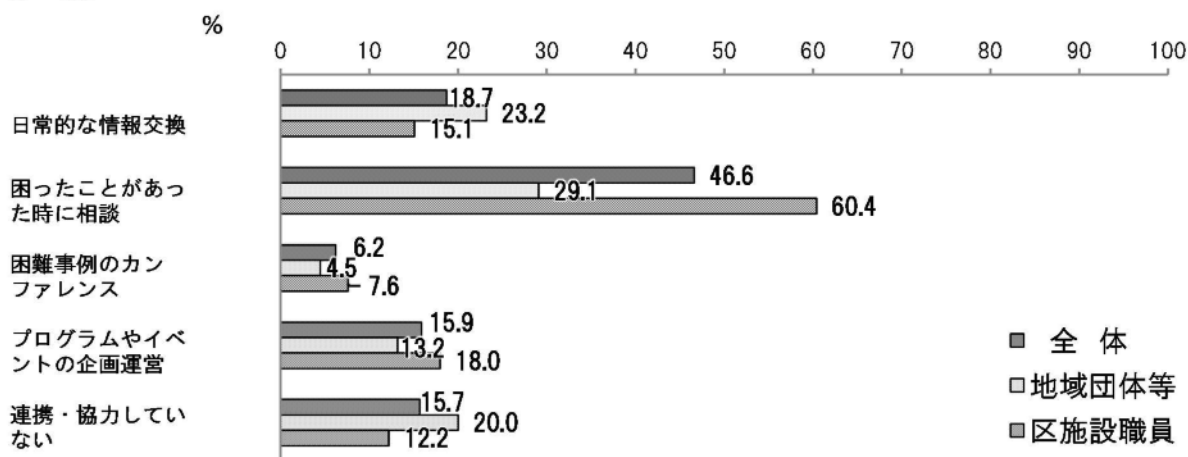


団 8,職 10)

■ 5-2-4 6) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：ツ 警察署 （複数回答）

- ・ 地域団体等と区施設職員はどちらも「困ったことがあった時に相談」が最も多く、地域団体等 29.1%、区施設職員 60.4%、次いで「日常的な情報交換」が多く、地域団体等 23.2%、区施設職員 15.1%でした。

N = 498



団 8,職 10)

■ 5-2-4 7) あなたの団体や職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力すること：テ その他 （複数回答）

- ・ 地域団体等は「連携・協力していない」が最も多く 6.4%、次いで「困ったことがあった時に相談」が 1.8%でした。
- ・ 区施設職員は「困ったことがあった時に相談」が最も多く 1.1%、次いで「日常的な情報交換」が 0.7%でした。

N = 498

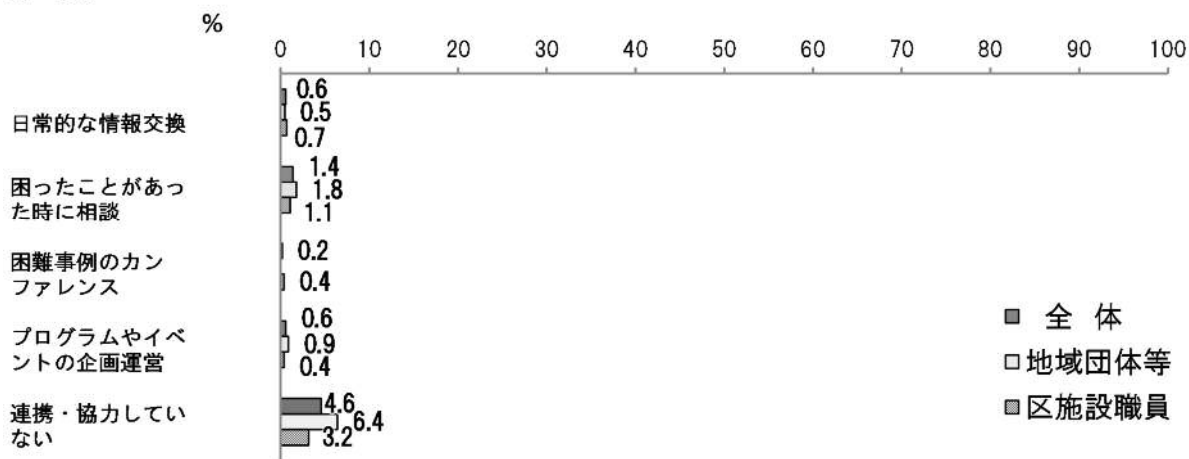
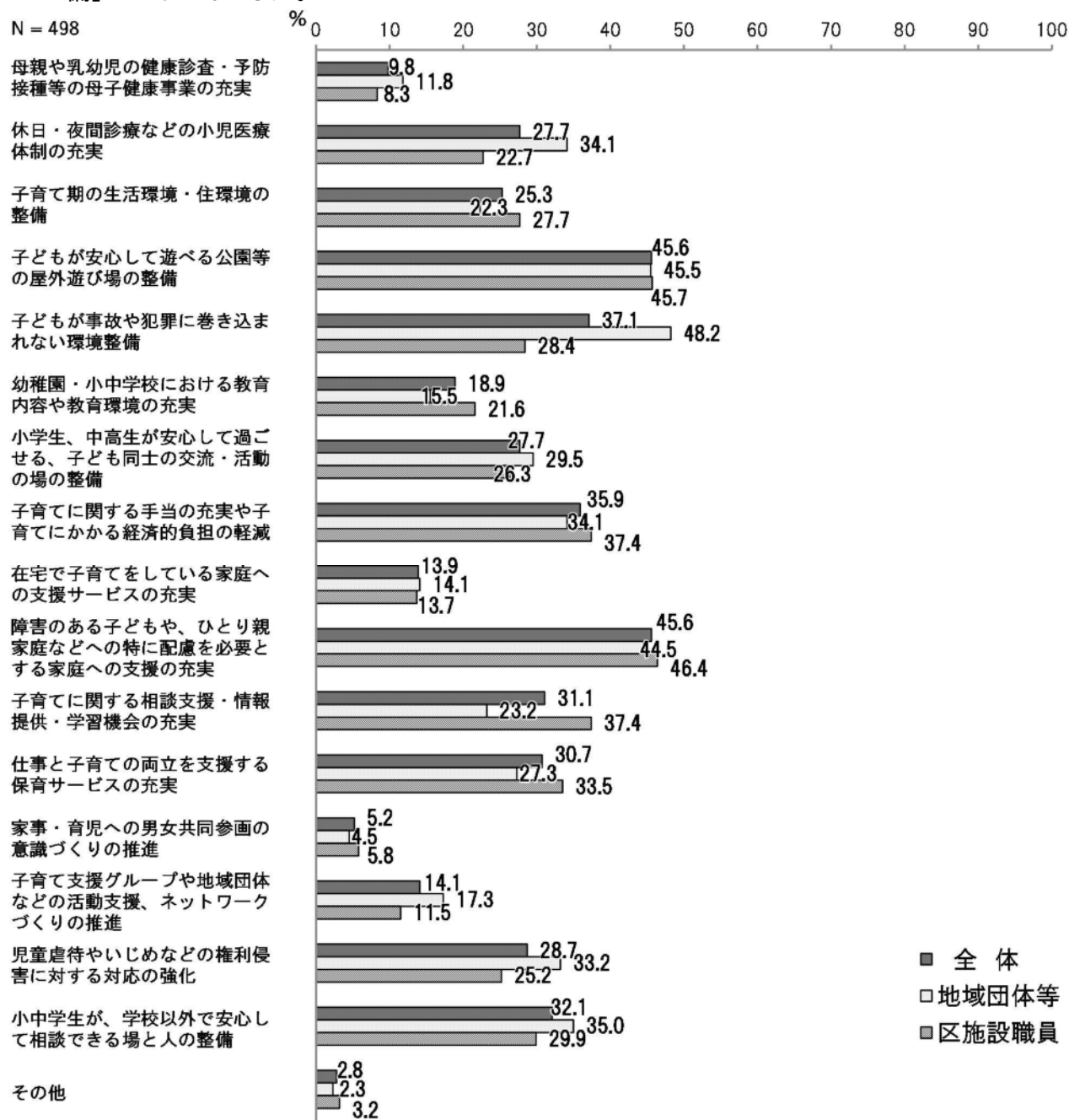


図 8,職 10)

■ 5-2-48) 子育て支援に関して、どのような施策を充実させる必要があると思いますか。
(複数回答)

- ・ 地域団体等は「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」が最も多く 48.2%、次いで「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が 45.5%でした。
- ・ 区施設職員は「障害のある子どもや、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする家庭への支援の充実」が最も多く 46.4%、次いで「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が 45.7%でした。



団 9.職 11)